

## 中学校 国語 調査資料 作成の観点

項 目		観 点
特 色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○社会生活に必要な国語の特質（言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化）を理解し適切に使うことができるように、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○言語活動を通して、言語能力を育成するためにどのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重する能力の向上を図る態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○国語を尊重するとともに、豊かな語彙力及び言語感覚（言葉に対する正誤・適否・美醜などの感覚）を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○学校図書館を活用し、読書に親しむ態度を育成するために、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料についてどのような工夫がされているか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料のレイアウトについてどのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○漢字・用語・記号などの使い方について、どのような工夫がされているか。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の言語能力の発達の段階からどのような工夫がされているか。</p>
総 括		（全体的な特徴、その他）

項目 発行者	特 色
	内 容
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・8つの単元で構成されており、巻頭の「言葉の学習を始めよう」において、国語学習の意義が示されている。全体を通して、国語の授業で身に付けた言語能力を他教科や生活に生かしていこうとする態度を養えるように工夫されている。</li><li>・「未来への扉」として9つのテーマが示され、それぞれの学習で認識を深め、様々な観点から未来について考えられるように工夫されている。</li><li>・「てびき」を通して、学習の目標や流れを確認することができ、見通しをもって学習を進められるように工夫されている。さらに、「言葉の力」として学習のポイントが示され、「てびき」に取り組むための手立てが示されている。</li><li>・学年ごとに本のジャンルと言語活動が示され、読書に親しむ学習活動に取り組めるよう配慮されている。芸能人や声優、作家が「私のおすすめの本」として作品を紹介し、読書意欲を高める工夫がされている。</li></ul>
15  三省堂	<ul style="list-style-type: none"><li>・「本編」と「資料編」で編成されている。本編は8つの単元で構成されており、言語能力を身に付けられるようになっている。資料編には、「読書の広場」に加え、社会生活で活用できる知識がまとめられている。</li><li>・「思考の方法」の例示や解説によって、生徒の学びに向かう力を高められるよう工夫されている。また、「読み方を学ぼう」では、文章の種類や特徴に応じた読みの視点を3年間で22種類示し、生徒が能動的に文章を読もうとする姿勢を育成するための工夫がされている。</li><li>・グラフと文章など、複数の情報を関連させて考えをまとめる「情報を関係づける」という単元を全学年に設定し、3年間を通して情報活用能力を高められるよう配慮されている。また、9種類の「思考の方法」が図解で示され、学習活動に活用できるようになっている。</li><li>・自分の好きな作品をもとにして続編を創作したり作品を研究したりするなど、学校図書館の活用を図る言語活動が示されている。人気アーティストの歌詞や、現代の作家・作品を取り上げることにより、読書意欲、学習意欲の向上を図る工夫がされている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・折り込みページに、古典作品のあらすじや歴史的背景などが絵巻や図版とともに紹介されている。</li><li>・巻末の「資料編」にある「文法解説」は3段でページ構成され、順序立てて学習を進められるようになっている。</li><li>・「デジタルコンテンツ一覧」では各教材の中にある二次元コードの内容が豊富に示され、関連する資料を活用することができるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・漢字が大きく示され、音読みと訓読みが併せて記載されている。</li><li>・脚注の語句説明により、読解を深める工夫がされている。</li><li>・記号により行数をとらえる工夫がされている。</li><li>・本文と脚注等のフォントを変えることで、読む際の配慮がされている。</li><li>・色覚の特性を考慮し、配色とデザインに工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「話すこと・聞くこと」では、生徒同士が助言し合ったり、議論を通して考えを深めたりする言語活動が示されている</li><li>・「書くこと」では、完成作品例や、途中段階の例が掲載され、生徒が主体的に学べるよう工夫されている。</li><li>・「読むこと」では、「学びの扉」、教材、「てびき」の流れで、学習を深めていけるよう工夫されている。</li><li>・「日本語探検」では、キャラクターが日本語の不思議な世界を探検する物語仕立ての文章を読みながら、日本語のきまりや特徴を楽しく学ぶことができるようになっている。</li></ul>
15  三省堂	<ul style="list-style-type: none"><li>・古典教材に写真などを掲載し、古典への興味を喚起するとともに、作品の全体像が捉えられるよう工夫されている。</li><li>・巻末の「学習用語辞典」や「読み方を学ぼう一覧」によって、学習の効果を高める工夫がされている。</li><li>・各教材に二次元コードが示され、教科書と連動したコンテンツが利用できるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・全体を通して、文字やイラストなどの色使いに配慮がされている。</li><li>・脚注部分の「漢」（新出漢字）、「意」（辞書で意味を調べる語句）、「対」（対義語）、「類」（類義語）等の記号が色分けされている。</li><li>・行数が5行ごとに記されている。</li><li>・色覚の特性を考慮し、配色が工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「話すこと・聞くこと」では、各学年3つの教材で構成されている。「話し合いのこつ」によって、グループでの話し合いのポイントが示されている。</li><li>・「書くこと」では、「目標」「学習の流れ」「ポイント」「学びを振り返る」が示され、「学び方」を確かめながら学習を進める工夫がされている。</li><li>・「読むこと」では、「読み方を学ぼう」を設け例や図解を通して、何をどのように読めばよいかという読みの方法が説明されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色
	内 容
1 7  教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 8 つまたは 9 つの単元で構成されており、目次の後にある「言葉の地図」において、取り上げる言語活動、学びを進めるキーワード、教科書の構成、各学年で学ぶ内容と身に付けたい言葉の力が示されている。また、学びを進めるキーワードは、SDGs との関連を踏まえたものとなっており、全ての単元で設定されている。</li><li>・ 「学びナビ」では、文章を読む視点、情報の整理の仕方、学習活動の進め方のヒント等が取り上げられている。学習内容を理解したり、深く学んだりするための手立てが示され、生徒が学習への心構えをもつことができるよう工夫されている。</li><li>・ 「言葉の小窓」「文法の小窓」では、日本語に関する基本的な知識や、日常生活で用いる言葉がもつ社会性や法則性に気付くことを重視した学習に取り組めるよう工夫されている。</li><li>・ 全学年に「情報メディアと表現」の教材を複数配置し、写真、漫画、SNS、脚本などの資料を取り上げ、情報の比較、情報の関係付け、発信者の意図などについて学習できるように工夫されている。</li><li>・ 「学びのチャレンジ」では、非連続型テキストをはじめ、様々な文章や資料を読みながら、考える力や目的に応じて判断する力などを高めていく問題が設定されており、複数の情報を関連づけて読み解く力を育成できる工夫がされている。</li><li>・ 「広がる本の世界」では、様々なジャンルの本が紹介されている。また、「みちしるべ」として、本の帯やポップ作り、本の推薦、ビブリオバトルなど、読書に親しめる言語活動が示されている。</li></ul>
3 8  光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 8 つの単元で構成されており、巻頭の「学習の見通しをもとう」において、領域ごとに学習のポイントが示されている。また、「思考の地図」では、思考を広げたり深めたりする思考法が紹介され、課題の解決に向かう手立てが示されている。</li><li>・ 課題解決能力を伸ばすことをテーマに学習を焦点化した「学びへの扉」と、資質・能力を焦点化し、図解によって可視化された「学びのカギ」が、教材ごとに学習の手引きとして示されている。</li><li>・ 1 年生の学習への不安が解消できるよう、 小学校における既習事項を確認できる「言葉に出会うために」が設けられている。</li><li>・ 「思考のレッスン」や「情報整理のレッスン」により、情報と情報との関係を踏まえて考えたり、情報を可視化して整理したりする活動を通して、情報を扱う知識・技能の習得が図れるよう配慮されている。</li><li>・ 「古典の世界」では、3 年間で学習する古典作品を年表やジャンル別にまとめて紹介されており、作品と時代のつながりを確認することができる工夫がされている。</li><li>・ 「読書を楽しむ」では、生徒の読書に対する興味・関心を喚起する言語活動が、全学年に 3 種ずつ紹介されている。また、話題の作家や本を紹介したり、翻訳の違いをテーマにしたりするなど、生徒の読書意欲を高める工夫が取り入れられている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
1 7  教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 巻末に、「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」が掲載されている。</li><li>・ 全学年に「四季のたより」を設け、四季それぞれの和歌と俳句を掲載し、日本の言語文化を味わえるよう工夫されている。</li><li>・ 「まなびリンク」として二次元コードが示され、学習に関する情報が得られるウェブサイトを見ることができるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新出漢字について、脚注では一字で示され、読みながら確認することができるようになっている。また、教材末では用例とともに示されており、繰り返し新出漢字を確認することができるようになっている。</li><li>・ 記号により行数がとらえられるようになっている。</li><li>・ 字間や行間が広く設定され、読む際の配慮がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「話すこと・聞くこと」では、1、2 年生は 4 つ、3 年生は 5 つの教材で構成されている。「学習活動の流れ」でポイントを示すことによって、学習が深まるように工夫されている。</li><li>・ 「書くこと」では、「何を」「どのように学ぶのか」という学習の進め方と、目指すゴールの姿として文例を示し、生徒が主体的に学べるよう工夫されている。</li><li>・ 「読むこと」では、「学びナビ」「本文」「みちしるべ」「振り返り」の順でページが配置されており、生徒が見通しをもって学ぶことができる工夫がされている。</li></ul>
3 8  光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目次に続く折り込みページに「思考の地図」が掲載されており、様々な思考法について解説されている。</li><li>・ 全学年に「季節のしおり」を設け、季節の風物を描いた詩歌や名文の一節を紹介し、語感を楽しんだり、言語文化に触れたりできるよう工夫されている。</li><li>・ 各教材に二次元コードが示され、関連する資料を閲覧することができるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新出漢字について、脚注で全ての音訓の用例が示され、本文で学習する読みだけでなく、学んだ漢字を他の場面でも活用できる工夫がされている。</li><li>・ 脚注の語句説明により、読解を深める工夫がされている。</li><li>・ 古典の教材において、現代語訳と原文のフォントが異なっており、区別しやすいよう配慮がされている</li><li>・ 本文に、教科書のためにデザインした明朝体・ゴシック体を使用し、手書き文字との差が学習上の支障とならないよう配慮がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「話すこと・聞くこと」では、音声に関する基礎的な技能を身に付ける教材と、その活用を図る言語活動が配置され、技能と活用のつながりを意識しながら学べるようになっている。</li><li>・ 「書くこと」では、正確な情報に基づいて、根拠をもって書く力を身に付けるために、グラフなどの情報を分析して考えをまとめる活動が示されている。</li><li>・ 「読むこと」では、主体的・対話的で深い学びを実現するための学習過程が示されている。教材はじめの「目標」と、教材末の「捉える」「読み深める」「考えをもつ」において、何に着目して読むかが示されており、生徒が理解できるように工夫されている。</li></ul>

## 中学校 書写 調査資料 作成の観点

項 目		観 点
特 色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○目的や必要に応じて、文字を選んで効果的に書かせる学習について、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○生徒が主体的に学習に取り組むようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成するために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○伝統文化を守るために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うようにするために、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習効果を高めるために、資料の内容について、どのような工夫がされているか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料の配置や手本との関連において、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○用語・記号などの使い方について、どのような工夫がされているか。</p> <p>○教材の内容や解説・説明の仕方について、生徒の言語能力の発達の段階に応じて、どのような工夫がされているか。</p>
総 括		(全体的な特徴、その他)

項目 発行者	特 色
	内 容
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・小学校で学んだ筆順、字形、点画が、1年生の最初の教材として設定されており、既習事項を確認できるようになっている。</li><li>・毛筆の導入として硬筆書き込み欄が設定されており、硬筆、毛筆の往復で、技能を身に付ける工夫がされている。</li><li>・左ページに毛筆の手本が配置され、「書写のかぎ」として留意点が示されており、重点事項が色分けされている。</li><li>・硬筆によるまとめ書きや各学年の最終ページにある「書写テストに挑戦！」で振り返りができるように工夫されている。</li><li>・運筆の朱墨・淡墨2色使用や、平仮名も含めた基本点画の扱い、行書の特徴の4類型化など、技能習得のための工夫がされている。</li><li>・「文字といっしょに」では、国語教材の硬筆手本や半紙と画仙紙の両方による書き初め教材などの課題に加え、「手書き文字と活字の違い」や「文字の移り変わり」などの文字に関する知識を身に付ける取組が設定されている。</li><li>・3年生では、「生活に広げよう」や巻末の「書写活用ブック」に加え、「身の回りの文字の豊かさ」というコーナーがあり、書写で身に付けた力を日常の学校生活や社会生活に生かすことができるように工夫されている。</li></ul>
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"><li>・「学習のはじめに」「本編」「資料編」で構成され、各学年の学習内容は「本編」にまとめられている。「学習のはじめに」と「資料編」には、学習の基礎的な事項や日常で使える手紙の書き方等がまとめられている。また、「学習のはじめに」では、姿勢と構え方、筆の持ち方などを動画で確認できるようになっている。</li><li>・「活字と手書き文字・筆順」では、「気をつけたい筆順の字」というコーナーにおいて色分けして示されており、生徒が筆順に注意して書けるよう工夫がされている。</li><li>・行書の運筆が分かるように、2色の墨を穂先と腹に付けて書かれている。</li><li>・「書いて身につけよう」では、毛筆で学んだことを硬筆に生かすなど、学んだことを繰り返し練習できる欄が設定されている。</li><li>・文字に関わる仕事の写真とともに紹介されており、キャリア教育の視点が示されている。</li><li>・「書写の広場」では、古典の作家や作品、様々な書や文房具など、書に関連する説明がされている。</li><li>・ノートの書き方や新聞の作り方など、学校生活で実際に活用できる内容が紹介されている。</li><li>・巻末に人気アーティストの歌詞が行書で書かれており、学習意欲の向上を図る工夫がされている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・「姿勢と筆記具の持ち方」では、毛筆の用具ごとの片付け方などが写真で示されている。</li><li>・「常用漢字表・人名漢字表」では文字が楷書、行書の両方の字体で示されている。</li><li>・「書写活用ブック」では、日常の学習や生活などの中で使用する書式が示されている。</li><li>・各教材の中に二次元コードが示され、関連する資料を活用することができるようになっていいる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・使用者に配慮し、活字の書体が場面ごとに使い分けられている。</li><li>・カラーユニバーサルデザインが取り入れられており、学習内容が青、「生活に広げよう」がオレンジに色分けされている。</li><li>・運筆がイラストと「とん・すう・ぴたっ」という擬音で示されている。</li><li>・色覚多様性や左利きへの配慮がされている。</li><li>・平仮名・片仮名について、注意すべき外形や筆順が楷書と行書で示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・表紙裏に「文字を『書く』ってなんだろう？」という学習の根底に関わるテーマが示され、書くことへの意識付けが高められるよう工夫されている。</li><li>・学習の振り返りの方法が「話し合おう」という対話的な表現で示されている。また、小中高の接続から日常生活への活用まで見通した内容や構成となっている。</li><li>・再生紙や植物油インキが使用されており、環境問題やSDGsへの配慮がされている。</li><li>・裏表紙の「保護者の皆様へ」において、編修の趣意や願いが述べられている。</li></ul>
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"><li>・「部分別行書一覧表」では、画数別に部首等の行書の書き方が示されている。</li><li>・「資料編・日常の書式」では、各月の時候の挨拶が手書きで示され、硬筆の手本としても活用できるようになっている。</li><li>・「資料編・楷書行書一覧表」は、常用漢字を基準としており、実生活に活かせるような工夫がされている。</li><li>・「毛筆補充教材」は楷書と行書の手本が示されている。</li><li>・二次元コードがあり、筆の運び方や用具の扱い方等の動画が確認できるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ユニバーサルデザインが取り入れられており、活字の書体や配色が統一されている。</li><li>・各ページとも色使いと囲みのレイアウトが揃っている。</li><li>・キャラクターを使って説明をしたり、書くときのポイントを示したりする工夫がされている。</li><li>・巻末に「二次元コード一覧表」が示され、各教材のコンテンツ内容を確認することができるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き1ページで取組が示されており、授業での学習の流れが分かるよう構成されている。</li><li>・段階を追って学習していけるように、指導事項が配列されている。また、学習内容が生活の中の様々な場面で生かせるよう工夫されている。</li><li>・環境に配慮した用紙やインキが使用されている。</li><li>・毛筆で学習した後に硬筆で繰り返し書いて練習できるようになっており、日常生活に生かせるよう工夫されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色
	内 容
1 7  教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・「学習の進め方」「本編」「資料編」で構成され、各学年の学習内容が学年ごとに掲載されている。</li><li>・「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」という学習過程が示され、生徒が見通しをもって学習に取り組む工夫がされている。</li><li>・硬筆のページでは、「試し書き」「まとめ書き」の書きこみ欄が設定されており、技能の定着を図るための工夫がされている。</li><li>・手本が見開きで右側のページに統一されており、手本の文字を視覚的に捉えてから、説明を受けて文字を書ける構成となっている。また、説明には、「二、三画目を連続して書く」と整えて書ける」などの留意点が示されており、生徒が留意点を意識して取り組むための工夫がされている。</li><li>・行書の運筆が分かるように、手本には2色の墨を穂先と腹に付けて書かれたものが示されており、生徒が筆遣いを意識して取り組むための工夫がされている。</li><li>・行書の導入では、「和」と「の」の練習で示されており、基本となる運筆を確認する工夫がされている。</li><li>・各教材に活動に適した筆記具が示されており、効果的に文字を書くことができる工夫がされている。</li><li>・既習内容の確認として、書写テストがあり、3年間の学習の振り返りができるように工夫されている。</li><li>・歴史上の人物の書が示され、文字に対する生徒の興味関心を高める工夫がされている。</li></ul>
3 8  光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・「本編」と「書写ブック」から構成され、双方に関連し合うページが示され、毛筆で学習したことを硬筆に生かせるよう工夫されている。</li><li>・各単元に「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程が示され、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</li><li>・各単元の「生かそう」では、総まとめの練習に加えて別冊「書写ブック」の対応ページ数が示され、学習したことがすぐに活用できるようになっている。また、「書写ブック」が取り外せるため、関連ページと並べて使用できる工夫がされている。</li><li>・楷書の「点画の種類」では、穂先の流れや筆圧が補助線で示されており、線の太さを視覚的に確認できる工夫がされている。</li><li>・一つ一つの漢字の手本の脇に、2色の墨で運筆が示されており、生徒が筆遣いを意識して取り組むための工夫がされている。</li><li>・行書の導入に4ページを割き、楷書との違いを確認できるように工夫がされている。</li><li>・「三年間のまとめ」では、各学年で学習してきた内容が示され、学習を振り返りながら、自分の課題を確かめることができるようになっている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
1 7  教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・漢字一覧表は小学校の部と中学校の部に分かれ、部首別にまとめられている。また、読み方の一覧表で、掲載ページを見つけることができるように工夫されている。</li><li>・「竹取物語」や「宮沢賢治」など、国語に関連したものが写真で示されている。また、文房四宝や特徴のある点画についての運筆も、写真で示されている。</li><li>・姿勢や筆の持ち方だけでなく、後片付けの仕方も紹介されている。</li><li>・「まなびリンク」として二次元コードが示され、学習に関する情報が得られるウェブサイトを見ることができるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・筆順を正確に理解できるように手本などの活字の書体が配慮されている。</li><li>・カラーユニバーサルデザインが取り入れられ、各学年と巻頭巻末の計4色で配色されている。</li><li>・筆圧の違いに注意して書けるように、「1の力」「2の力」「3の力」という表記で、線の太さや穂先の向きが写真で示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・古典作品を書くことで国語の学習を深められるようになっている。</li><li>・毛筆で書くことを硬筆で振り返ることで課題の定着を図る工夫がされている。</li><li>・書写で身に付けた力を日常生活や様々な学習活動で生かす場面が「学習を生かして書く」で紹介されている。</li><li>・説明や資料によって、生徒の文字への興味関心を高める工夫がされている。</li></ul>
3 8  光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻末の「常用漢字表」と「人名用漢字表」には手書きの楷書と行書が並べられている。</li><li>・硬筆の手本は、漢字や平仮名だけでなく、片仮名、数字、アルファベットについても示されている。</li><li>・古典の臨書を硬筆で体験できるページなど、高校芸術科書道への接続が図られている。</li><li>・各教材に二次元コードが示され、関連する資料を活用することができるようになっている。また、活動前に行う「書写体操」の動画もある。</li><li>・各教材の二次元コードには、「動画」や「他の文字にもチャレンジ」などの資料内容が示され、確認ができるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ユニバーサルデザインフォント」についてコラムで紹介されている。</li><li>・全てのページについて特別支援教育やカラーユニバーサルデザインの専門家による校閲を受け、レイアウトや色の組合せが配慮されている。</li><li>・始筆、送筆、終筆のリズムを意識できるように「トン・スー・トン」という言葉と写真で、確かめられるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「考えよう」「確かめよう」「生かそう」で「何をどう学ぶか」が示されている。</li><li>・運筆に関しては、2色の墨を穂先と腹に付けて書かれたものが示されているだけでなく、動画でも確認することができるようになっている。</li><li>・「書写ブック」は教科書から取り外しができ、本編と照らし合わせながら、毛筆を硬筆に生かす書く活動に取り組むことができるよう工夫されている。</li></ul>

## 中学校 社会（地理的分野） 調査資料作成の観点

項 目		観 点
特色	特 内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解できるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けられるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連について、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めるために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○自ら見いだした問題の解決を目指し、他者と協働しながら追究した結果を振り返ってまとめたり、新たな問いを見いだしたりすることができるように、どのような工夫がされているか。</p> <p>○分野の学習において課題（問い）を設定し、その課題（問い）の追究のための枠組みとなる多様な視点に着目させ、課題を追究したり解決したりする活動が展開できるように、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○資料の配置、数、種類などについて、どのような工夫がされているか。</p> <p>○事例の選択、資料の取り上げ方など、学習効果を高めるために、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○学習効果を高めるために、表記・表現（見出し、記号、用語、脚注等）について、どのような工夫がされているか。</p>
総 括		（全体的な特徴、その他）

項目 発行者	特 色
	内 容
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・「スキル・アップ」のコーナーが設けられ、写真や雨温図、統計地図やグラフなどの読み取り方など、地理の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けられるよう工夫されている。</li><li>・生徒がつまずきやすい事項が「もっと解説」で補足説明され、知識を確実に定着させる工夫がされている。</li><li>・各章の「まとめの活動」では、「ベン図」や「ウェビング」といった多様な思考ツールを活用することで、思考を整理し、学びを深める工夫がされている。</li><li>・持続可能な社会の実現を考えるヒントになるコラム「未来にアクセス」が設けられ、課題解決のための様々な取組を取り上げるなど、SDGsの視点を意識付けられるよう工夫されている。</li><li>・単元を貫く「探究課題」を立て、それを解決するために必要な学習プロセスが配置されていることで、見通しをもち、無理なく課題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。</li></ul>
17  教育出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・章、節の最後に「学習のまとめと表現」が設けられ、学習内容を振り返ることで基礎・基本の定着とその活用を図れるよう工夫されている。</li><li>・地理の学習で身に付けたい技能や表現力を養う「地理の技」が設けられている。</li><li>・各章の「学習のまとめと表現」にはグループでの対話的な活動を想定した多様な問いが示されている。</li><li>・巻頭の「地理の学習を始めるにあたって」では、SDGsのあらましが解説され、SDGsの目標を視点として学習することが示されている。</li><li>・「導入ページ」「本時ページ」「学習のまとめと表現」「特設ページ」が設けられ、単元を通して課題解決的に学習を進められるよう工夫されている。</li></ul>
46  帝国書院	<ul style="list-style-type: none"><li>・本文ページには、「確認しよう」と「説明しよう」が設けられ、学習内容への理解を深め、知識を定着させるよう工夫されている。</li><li>・「地図帳活用」や「技能をみがく」が設けられ、地図帳の活用などを通して、学びを深める工夫がされている。</li><li>・巻頭9ページに「考えを整理する方法～思考ツールを活用しよう～」が設けられ、学習に有用な思考ツールが紹介されており、まとめる活動において、実際に思考ツールを活用できるよう工夫されている。</li><li>・地球的・地域的課題の解決に向けて構想する「アクティブ地理」が設けられ、現代社会が抱える課題に主体的に取り組むことで、社会の形成に参画する態度を育成できるよう工夫されている。</li><li>・地理的分野のまとめでは、テーマ設定から解決策の提案までの一連の流れと方法が示され、持続可能な社会の実現に向け、課題解決的に学習を進められるよう工夫されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界や日本の様々な地域の写真が豊富に掲載されている。</li><li>・導入、展開、まとめのそれぞれの場面で活用できる二次元コードが示されており、家庭での学習にも活用できるなど個別最適な学びを実現する工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書全体を通して、UDフォントが採用されている。</li><li>・グラフや地図などでは、波線や点線を減らす工夫がされている。</li><li>・学習課題、本文、資料等の要素が定位置に配置され、「1時間の学習の流れ」が分かりやすくデザインされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面はAB版が使用されている。</li><li>・導入、展開、まとめといった単元や1時間の学習の流れが分かりやすく構成されており、それぞれの場面に応じてデジタルコンテンツが活用できるように配慮されている。</li></ul>
17  教育出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・章、節の最後の「学習のまとめと表現」では、白地図や主題図など、地図を活用しながら知識が定着できるよう工夫されている。</li><li>・「まなびリンク」として二次元コードが示され、学習に関する情報が得られるウェブサイトを見ることができるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書全体を通して、UDフォントが採用されている。</li><li>・「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が分かりやすく示されることで、基礎・基本がしっかりと身に付くよう紙面構成が工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面はAB版が使用されている。</li><li>・単元を通して、課題を捉え、見通しを立て、解決していく力の育成が図られるよう「問」を軸にして追究するように構成されている。</li></ul>
46  帝国書院	<ul style="list-style-type: none"><li>・イラスト地図から地域を概観する「とびら」や大判の写真から地域の様子をつかむ「写真で眺める」が設けられ、生徒が興味・関心を高めて、意欲的に学びに向かえるよう工夫されている。</li><li>・学習内容の習得や調べ学習を支援する二次元コードが掲載されており、個別最適な学びを促す工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書全体を通して、UDフォントが採用されている。</li><li>・図版に背景色や囲み線を付けるなど、図版と本文を区別しやすくしているとともに、色覚特性に配慮した識別しやすい色使いとなっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面はAB版が使用されている。</li><li>・学習の見通しと振り返りがしやすいよう単元が構成されており、単元を通して、「指導と評価の一体化」が図れるよう工夫されている。</li></ul>



項目 発行者	特 色
	内 容
116  日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・「学習課題」と対応した「確認・表現」のコーナーで、本文ページの学習を確かめるための問が設けられ、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を定着できるよう工夫がされている。</li><li>・地理の学習を進めるにあたって必要な地理的技能を系統立てて習得できるように解説した「スキルUP」が各所に設けられている。</li><li>・「巻頭」で「地理的な見方・考え方」の例が示されるなど、地理的分野全体で「見方・考え方」を働かせながら活動に取り組むことができるよう工夫されている。</li><li>・世界の州や日本の地域を取り上げ、そこに住む人々が、地域が抱える課題の解決のためにどのような取り組みを進めているのかを学習することで、持続可能な地域づくりの実現に取り組む力を身につけられるよう工夫されている。</li><li>・生徒が自ら「編・章・節の問い」を立て、単元の学習の見通しをもち、「まとめと振り返り」のページで改めて「編・章・節の問い」を考えることで、課題解決的に学習を進められるよう工夫されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
116  日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒が身近に考えられる事例や現代的な新しい事例が資料として掲載されており、生徒の関心を高めることができるよう工夫されている。</li><li>・毎ページに二次元コードが掲載されており、生徒の学習進度に合わせた個別最適な学びを実現するための工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書全体を通して、UDフォントが採用されている。</li><li>・小学校6年生以上で学習する漢字の初出箇所と、すべての重要語句にルビが付けられている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面はAB版が使用されている。</li><li>・構造的に「編・章・節の問い」が設定され、その問いについて自分の考えをまとめるページを設けることで、見通しをもって学習に取り組める単元構成になっている。</li></ul>

# 中学校 社会（歴史的分野） 調査資料作成の観点

項 目		観 点
特 色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に各時代の特色を踏まえて理解できるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けられるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などについて、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○自ら見いだした問題の解決を目指し、他者と協働しながら追究した結果を振り返ってまとめたり、新たな問いを見いだしたりすることができるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○分野の学習において課題（問い）を設定し、その課題（問い）の追究のための枠組みとなる多様な視点に着目させ、課題を追究したり解決したりする活動が展開できるようにするために、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習効果を高めるために、資料についてどのような工夫がされているか。</p> <p>○資料の配置、資料と本文との関係について、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○学習効果を高めるために、表記・表現（見出し、記号、用語、脚注等）について、どのような工夫がされているか。</p>
	総 括	（全体的な特徴、その他）

項目 発行者	特 色
	内 容
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き2ページで1単位時間とし、「導入資料」→「学習課題」→「本文」→「チェック&amp;トライ」の流れで構成されており、学習内容を確実に定着できるようになっている。</li><li>・年表や歴史地図、系図、絵画資料の読み取り方などの基礎的な技能を、様々な習得・活用場面を通して身に付けることができるように工夫されている。</li><li>・学習の過程に「見方・考え方」を働かせるマークが設けられ学習を深められるよう工夫されている。</li><li>・各章の「まとめの活動」では「ウェビング」「ステップチャート」といった多様な思考ツールを活用することで、思考を整理し、学びを深める工夫がされている。</li><li>・持続可能な社会の形成を常に意識できるように、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマをもとに、現代的な諸課題を自分事として捉え、課題解決のための意識と態度が育つように工夫されている。</li><li>・小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーが適宜設けられ、対話的な活動を効果的に実践できるよう工夫されている。</li><li>・「探究課題」「探究のステップ」「学習課題」の3段階の問いで課題解決的な学習が促されている。</li></ul>
17  教育出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き2ページで1単位時間とし、「導入資料・中心資料」、「学習課題」、「本文」、「資料」で構成されている。また、本時の学習をまとめる「確認」と「表現」が設けられている。</li><li>・絵や写真、新聞、地図や系図などの資料について、活用の方法や手順を示す「歴史の技」が設けられている。</li><li>・各章の「学習のはじめに」では、これから学習する時代をイメージしやすい資料について、「LOOK!」に示された視点を手掛かりに読み解くことが促されている。</li><li>・章の最後の「学習のまとめと表現の流れ」のページで「HOP!」「STEP!」「JUMP!」の段階ごとに、その時代の流れをまとめるための学習活動が設定されている。</li><li>・巻末の「歴史学習の終わりに」のページでは、学習したことをヒントに、社会的な課題の解決に向けて、SDGsの17の目標も参考にテーマを設定し、考察と表現を行う学習活動に取り組むことができる構成になっている。</li><li>・コラム「歴史の窓」では、本文とは異なる視点から歴史を捉え直し、資料を活用しながら多面的・多角的に考察することができるよう工夫されている。小・中学校を通じた社会科の学びのゴールである公民を見据え、現代社会につながる歴史的事象や課題の扱いも充実している。</li></ul>
46  帝国書院	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き2ページで1単位時間とし、「導入資料」、「節の問い」、「本文と資料」、「確認しよう・説明しよう」、「節の問いをまとめよう」で構成されている。毎時の学習課題が明確で、単元の振り返りに「確認しよう・説明しよう」が設定されている。</li><li>・「タイムトラベル」では、その時代の特色が分かるような着眼点や学習活動を設けられており、各時代の政治・経済・文化などの特色をつかみやすいイラストが描かれている。</li><li>・「学習を振り返ろう」では、「タイムトラベル」での活動を生かして、節ごとの問いや章ごとの問を振り返ることができるよう工夫されている。</li><li>・「地域史」というコラムが掲載されており、歴史上の地域事例が紹介されている。</li><li>・章扉や章の問いが設定され、単元を通した見通しと振り返りに工夫がされている。「アクティブ歴史」や「学習を振り返ろう」のページでは、生徒の主体性を高める工夫がされている。</li><li>・持続可能な社会への視点を養う「未来に向けて」というページの設定や最終単元で「これからの社会を構想しよう」という単元が設定されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・「スキルアップ」や鉛筆マークで示された「活動コーナー」など、見開き2ページに、年表スケールインデックスや歴史地図、系図、絵画資料などが掲載されている。</li><li>・二次元コードを読み取ることで、デジタルコンテンツを利用することができるようにされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UDフォントが採用され、文章は敬体で記されている。</li><li>・社会科の3分野や他教科でも扱う学習内容には、分野の関連と教科の関連を示してあり、教科等横断的な学習の視点をもつことができるように工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面は、AB版が採用されている。</li><li>・導入、学習課題、本文、まとめの1時間の「学習の流れ」が分かりやすく構成されている。</li><li>・単元末のまとめは、知識を確認し、振り返り、思考ツールなどを用いて自らの考えを整理して表現し、探究課題の解決につなげられるよう構成されている。</li></ul>
17  教育出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き2ページに「時代スケール(年表)」が掲載され、そのページで学習する時代や年代が、歴史の中でどの位置にあるのかが示されている。</li><li>・デジタルコンテンツが使える内容には、二次元コードが用意され、ICTを活用した学習ができるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UDフォントが採用され、文章は敬体で記されている。</li><li>・「小学校マーク」によって、小学校の学習内容とのつながりを意識しながら学習を進めることができるように工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面は、AB版が採用されている。</li><li>・資料には、見開きで通し番号が付けられている。</li><li>・人権や環境、資源・エネルギー、伝統・文化、防災・安全等、現代社会に見られる様々な課題や、つながりのある歴史が取り上げられ、社会に参画していく意識や態度が深められるよう工夫されている。</li></ul>
46  帝国書院	<ul style="list-style-type: none"><li>・「世界とのつながりを考えよう」のページでは、世界地図やイラスト等を活用しながら、世界と日本のつながりを確認できるよう工夫されている。</li><li>・二次元コードを読み取ることで、ICTを活用した学習ができるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UDフォントが採用され、文章は敬体で記されている。</li><li>・「小学校・地理・公民の学びと関連する資料」によって、小学校や地理・公民分野の学習内容とのつながりを意識して学習を進めることができるように工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面はAB版が採用されている。</li><li>・様々な立場や選択を踏まえて考察する活動が設けられたり、歴史上の人々が連携・協働して課題の解決に取り組む姿が紹介されたりしており、多面的・多角的に歴史を捉えられるように工夫されている。</li><li>・「学習を振り返ろう」では、歴史的な見方・考え方を整理し、章の問いを話し合ったり、説明し合ったりして学びを深められるように工夫がされている。</li></ul>

項目 発行者	特 色
	内 容
8 1 山 川 出 版 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き 2 ページで、各単元が、学習課題→本文→ステップアップによる振り返りという流れで構成されている。</li><li>・「歴史へのアプローチ」や「地域からのアプローチ」のページにより、幅広い知識と教養を身に付けることができるよう工夫されている。</li><li>・政治史のみならず、社会・経済史や文化史も充実した記述となっており、多面的・多角的な考察ができるよう工夫されている。また、価値観の異なる立場の資料も取り上げられている。</li><li>・図版を大きく、見やすくし、様々なパターンの豊富な発問を通して、主体的・対話的な活動を促し、学習意欲を高める工夫をしている。</li><li>・持続可能な開発目標に関連する、現代の世界が抱えている課題や解決策を探究することで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう工夫されている。</li><li>・各単元の学習課題、ステップアップの課題、図版に付した発問など、各所に設けた発問を受けて自ら考え、判断する力を身に付けられる工夫がされている。</li></ul>
1 1 6 日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き 2 ページで 1 単位時間とし、「導入資料」「学習課題」「本文・図版」「資料」で構成されている。また、本時の学習をまとめる「確認」と「表現」が設けられている。</li><li>・「トライ」「スキル UP」「資料活用コーナー」「チャレンジ歴史」なども含めて、毎時間、思考力、判断力、表現力などの向上を図る場面が設定され、随所で生徒が自分の言葉で表現できるように構成されている。</li><li>・各編（章）末では、「まとめとふり返し」の見開きページが設けられている。</li><li>・振り返る活動を通して、単元を貫く問いに答える活動が設定され、主体的に学習に取り組む態度の育成ができるよう工夫されている。</li><li>・協働的な学びを行うための工夫として、生徒同士の話し合いなど対話的な活動が効果的に取り入れられるものについて「学び合い」マークが示されている。</li><li>・内容のまとまりでの授業を支援したり、個別最適な学びを実現したりするために、教科書全体を通して「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」の 3 つのコンテンツを系統的に設定し、家庭学習でも利用できるよう、生徒の個別最適な学びを支援している。</li></ul>
2 2 5 自 由 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き 2 ページで 1 単位時間とし、「導入資料」「学習課題」「本文と資料」「チャレンジ」で構成されている。</li><li>・単元のまとめでは「復習問題のページ」や「時代の特徴を考えるページ」などが設けられ、章ごとの内容を振り返ることができるよう工夫されている。</li><li>・「対話とまとめ図」のページが設けられ、時代の特徴について、考えることができるように工夫されている。</li><li>・「人物を通して時代をとらえる」では、生徒が「人物カード」や「ミニ伝記」を作成することによって、歴史上の人物を通して時代の特徴が捉えることができるように工夫されている。</li><li>・「もっと知りたい」や「調べ学習のページ」が設けられ、修学旅行や、身近な生活と関わることを追究する問があり、生徒の主体性を高める工夫がされている。</li><li>・「歴史を学んで」というページが設けられており、「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」の実現に向けた工夫がされている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
8 1 山 川 出 版 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・「〇〇世紀の世界」のページでは、解説と世界地図、イラストによって、日本と世界の様子が把握しやすいように工夫されている。</li><li>・二次元コードにより、ICT を活用した学習ができるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用され、カラーユニバーサルデザインが取り入れられている。</li><li>・学習内容が「日本史」ではオレンジ、「世界史」では青色で色分けされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面は AB 版が採用されている。</li><li>・豊富で多様な発問を通して、考える力を養えるように工夫され、因果関係を重視した詳しい記述がされている。また、世界の歴史も含めた歴史全体の流れをつかむことができるように構成されている。</li><li>・構成・記述の流れや資料が高校の学習につながる内容になっている。</li></ul>
1 1 6 日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・各ページの右側には、歴史を大観できる年表が示され、左側には授業内容に関連する年表が掲載されるように工夫されている。</li><li>・デジタルコンテンツが使える内容に、二次元コードや「タブレットマーク」が掲載され、ICT を活用した学習ができるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用され、文章は敬体で記されている。</li><li>・「小学校」マークによって、小学校の学習内容とのつながりを確認できるように工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面は、AB 版が採用されている。</li><li>・資料には、見開きで通し番号が付けられている。</li><li>・各編（章）末に設定している「まとめとふり返し」ページでは、時代の特徴等について、主体的・対話的な学習の場面が設定されており、他者と協働しながら追究したり、まとめたりすることができるように工夫されている。</li></ul>
2 2 5 自 由 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界地図やイラスト等を活用しながら、世界と日本のつながりを確認できるようになっている。</li><li>・必要に応じて資料に吹き出しが付けられており、資料を読みとる視点が示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・文章は敬体で記されている。</li><li>・側注の解説では、本文中の用語や、難解な用語が示され、生徒が理解を深められるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面は AB 版が採用されている。</li><li>・歴史上の人々が連携・協働して課題の解決に取り組む姿が紹介されており、多面的・多角的に歴史を捉えられよう工夫されている。</li><li>・「時代の特徴を考えるページ」では、歴史的な見方・考え方を整理し、「歴史用語ミニ辞典」を作ったり、問題について考えたり、意見交換をしたりする工夫がされている。</li></ul>

項目 発行者	特 色
	内 容
2 2 7 育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・本文は1 単位時間で見開き2 ページとし、「つかむ」「調べる」「まとめる」で構成されている。</li><li>・「地域の歴史を調べてみよう」では、身近な地域の歴史について調査してまとめる方法が、テーマ設定からまとめ方まで具体例を挙げて紹介され、調べる技能を育む工夫がされている。</li><li>・「時代や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」といった「歴史的な見方・考え方」を働かせるコーナーが設けられている。</li><li>・「歴史ズームイン」には情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりする「資料活用」や、調べ学習や話し合い、発表をする「TRY！」のコーナーが設けられ、調べ学習やグループでの話し合い、発表など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた活動が促されている。</li><li>・豊富な美術作品などを掲載することで、日本の伝統と文化の学習を重視して学ぶことができるよう工夫されている。</li><li>・第1～6 章は、「歴史絵巻」「虫の目で見える時代」「本文ページ」「特設ページ」「学習のまとめ」で構成されており、課題解決型の学習過程の流れが明確にされている。</li></ul>
2 2 9 学 び 舎	<ul style="list-style-type: none"><li>・歴史への案内、原始、古代、中世、近世、二つの世界大戦、現代の6 つの部と、10 章から構成されている。章の扉のページで、部の学習課題がまとめられている。</li><li>・絵画資料・写真・文書・新聞・統計資料など多様な資料が大きく鮮明な画像で掲載され、読み取って活用ができるように工夫されている。</li><li>・「部の学習のまとめ」では、歴史の見方・考え方を働かせて、各時代の特色を多面的・多角的に考察し、学びを深められるように工夫されている。</li><li>・章の扉のページに北極を中心とする世界地図が置かれ、その時代の各地の様子を表す写真や絵が配置されており、世界各地の様子を想像したり予想したりできるように工夫されている。</li><li>・生徒の興味関心を高める見出しになっており、関心を引き出す学習課題が設定されている。</li><li>・近・現代史の学習では、5 つの章で61 テーマが設定され、第二次世界大戦後の現代史学習は、21 世紀までテーマが設定され、生徒自らが歴史的事象を今日の社会と結び付け、社会の諸課題を主体的に追究、解決しようとする態度が身に付けられるように工夫されている。</li></ul>
2 3 6 令 和 書 籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・「課題」の後に必ず「文献資料」が掲載され、文献資料から考察できるように構成されている。</li><li>・本文を補足する形で「考えよう」や「コラム」が設定され、従来は焦点が当てられなかった内容まで考えることができるようになっており、考えを深めながら振り返ることができるように工夫されている。</li><li>・幅広い知識と教養を身に付けられるよう、本文を中心に豊富な情報量が盛り込まれ、生徒が主体的に深く学ぶことができるように工夫されている。</li><li>・「時代ごとの特色をとらえよう」のページがあり、詳細な年表とともに、政治・文化・外交・産業の視点でまとめることができるよう工夫されている。</li><li>・時代区分ごとに問いが用意され、その時代の特色が考えられるよう工夫されている。</li><li>・「グループで歴史を調べよう」など、学習方法が具体的に提示されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2 2 7 育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・各章の冒頭に、その章で学習する時代の人々の生活を描いた絵画や写真を細かく見る「“虫の目” で見る歴史」コーナーが設置され、身近な生活や文化の目線で歴史を捉えられるよう工夫されている。</li><li>・各章冒頭に二次元コードを掲載し、学習内容に関連する情報が閲覧できるようにされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用され、文章は敬体で記されている。</li><li>・図版資料には、見開きごとに通し番号が付けられ、本文の対応する箇所に図番号が表示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面はAB 版が採用されている。</li><li>・伝統や文化の学習を重視しつつ、各時代を大観し、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に理解できる構成になっている。</li><li>・「歴史にズームイン」など歴史的な見方・考え方を働かせ、資料や学習内容について多面的・多角的な考察を深められるようにされている。</li></ul>
2 2 9 学 び 舎	<ul style="list-style-type: none"><li>・各章の冒頭で世界地図と資料が掲載され、日本の歴史と世界の歴史のつながりが分かりやすく示されている。</li><li>・巻末の年表は、図や写真資料が掲載されており、歴史の流れと各時代の特色が把握しやすいよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・文章は敬体で記されている。</li><li>・巻末の年表では、北海道や沖縄を本州と別に区分するなど、各地の出来事が具体的に捉えられるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面は、A 版が採用されている。</li><li>・図版や記述を活用することで、生徒の主体的な学びの実現が図られている。</li><li>・各単元の「章をふりかえる」「学習のまとめ」のページでは、時代の特色等について、主体的・対話的な学習の場面が設定されており、これまでの学習で身に付けた知識・概念・技能や、思考力・判断力・表現力を活用したり、他者と協働しながらまとめたりすることができるように工夫されている。</li></ul>
2 3 6 令 和 書 籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・二次元コードから読むことのできる漫画やイラスト等を活用しながら、日本の歴史を確認できるよう工夫されている。</li><li>・巻末には政権担当者・出来事対照表や「日本美術図鑑」など、時代や分野ごとに、考えやすく理解につながりやすい資料が豊富に掲載されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・文章は敬体で記されている。</li><li>・縦書きを採用し、小見出しにも「いろは順」を用いるなど、読書する楽しみを提示しようと試みられている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面はA5 版が採用されている。</li><li>・一義的ではなく、多角的に理解を深め、答えを求めるのではなく、問いを提起することを意識して編集されている。</li><li>・少数説もフォローし、幅広い知識を習得するために多くの事実が科学的根拠、データを用いて説明されている。</li></ul>

# 中学校 社会（公民的分野） 調査資料作成の観点

項 目		観 点
特 色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深められるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けられるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めるために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○自ら見いだした問題の解決を目指し、他者と協働しながら追究した結果を振り返ってまとめたり、新たな問いを見いだしたりすることができるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○分野の学習において適切な課題を設定し、その課題の追究のための枠組みとなる多様な視点に着目させ、課題を追究したり解決したりする活動が展開できるようにするために、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習効果を高めるために、資料についてどのような工夫がされているか。</p> <p>○資料の配置、資料と本文との関係において、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○学習効果を高めるために、表記・表現（見出し、記号、用語、脚注等）について、どのような工夫がされているか。</p>
	総 括	<p>（全体的な特徴、その他）</p>

項目 発行者	特 色
	内 容
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・「スキル・アップ」では、基本的、基礎的な知識・技能を身に付けられるようになっている。</li><li>・「チェック&amp;トライ」では、学習課題を振り返り、授業で学んだことを生かして1時間の学習の最後に取り組む課題が設定されている。</li><li>・「みんなでチャレンジ」や「見方・考え方」マークのある資料では、対話的な学びを通して、生徒の思考力・判断力・表現力を育成できるように工夫されている。</li><li>・章ごとに現代的な諸課題を自分事として捉えることのできる導入の活動が設定されており、生徒の興味関心を引くよう工夫されている。</li><li>・「今と向き合い、持続可能な社会の実現に向けて、これからの社会を生き抜く力を育む」が編集の基本方針とされており、各章で日本と世界の実状や課題を学び、終章では、世界的視野に立ち持続可能な社会を実現に向けて自分自身ができることを考えられるよう構成されている。</li></ul>
17  教育出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き右ページ下部に「確認！」と「表現！」が設けられている。「確認！」では、その単元で学習したことを確認し、整理できるよう工夫されており、また、「表現！」では、学習したことを活用し、自分で考え、言葉で表現できるよう工夫されている。</li><li>・「公民の技」では、身近な題材をもとに個人で考察し、その後、グループ活動を通じて、表現力を養うことができるよう工夫されている。</li><li>・学習コラム「公民の窓」では、生徒の興味や関心を広げていく題材が掲載されている。</li><li>・現代の諸課題から、その解決方法について考え、社会に参画していく意識や態度を涵養できるよう構成されている。</li><li>・SDGsを一つの軸として学習が展開されよう構成されており、終章ではSDGsについて自分自身ができることについて考える内容となっている。特設の「持続可能な社会に向けて」のページでは、社会の諸課題を捉え、グローバルな視点から、その解決に向けて協働しながら多面的・多角的に考察し、表現する学習活動ができるよう工夫されている。</li></ul>
46  帝国書院	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き右ページ下部に「確認しよう」と「説明しよう」が設けられており、「確認しよう」では、その時間の重要事項が確認できるよう工夫されている。また、「説明しよう」では表現する活動を通して学習を振り返ることができる工夫がされている。</li><li>・「アクティブ公民」が設定されており、現代社会の見方・考え方を働かせて、自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりしながら、学びを深めることによって主体的・対話的で深い学びが実践できるよう構成されている。</li><li>・章末の「学習を振り返ろう」では、章の問いについて協働的に学習できるよう工夫されている。</li><li>・特設ページと本文ページのコラム「未来に向けて」では、未来の社会を創るための具体的な取り組みを確認でき、持続可能な社会の実現に向けて、生徒一人一人が考え、学びに向かう力を養うことができるよう工夫されている。</li><li>・第5部の課題探究学習では、既習事項をもとに、グローバルな視点で、SDGsや持続可能な社会の形成について考え、自分自身に何ができるかを考えることができるよう計画されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開きページの左上に学習課題を追究するきっかけとなる資料を大きく掲載している。</li><li>・デジタルコンテンツが使えるところに「Dマーク」や二次元コードが掲載され、ICTを活用した学習ができるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用されている。</li><li>・「課題探究」「探究のステップ」「みんなでチャレンジ」「学習課題」「チェック&amp;トライ」「スキル・アップ」「他分野・他教科と関連を図った学習」などのマークが使用されており、見通しをもって活動できるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「単元の構成」で課題解決的な学習のプロセスが可視化されており、章全体を貫く「探究課題」、それを解決するための「探究のステップ」、毎時間の「学習課題」の3段階の問いが、課題解決的学習を促すように配置されている。</li><li>・各ページの定位置に学習課題、本文、資料、「チェック&amp;トライ」等が配置されており、生徒が見通しをもって学習できるように紙面が構成されている。</li></ul>
17  教育出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開きページの上部に、学習のきっかけや追究の中心となるような資料を「LOOK!」の解説文とともに紹介している。</li><li>・デジタルコンテンツ「学びリンク」が使えるところに二次元コードが掲載され、ICTを活用した学習ができるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用されている。</li><li>・学習内容がSDGsと関連しているページには、「関連するSDGsの表示」が表記され、ページ下部には、小学校・高等学校との接続、他分野・他教科との連携について記載されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・単元を通して課題解決的に学習が進められるよう「問い」を軸にして導入から振り返りまで学習できる構成となっている。</li><li>・前の学習を振り返る「HOP!」、再び導入ページの「問い」と向き合う「STEP!」、章全体の「問い」を考察する「STEP!2」、実社会の課題を探究する「JUMP!」の3段階の構成になっており、基礎、基本の定着と次章への準備が図れるよう工夫されている。</li></ul>
46  帝国書院	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き左ページの上部に学習課題を追求するきっかけとなる資料が大きく掲載されている。</li><li>・二次元コードが掲載され、ICTを活用した学習ができるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用されている。</li><li>・学びを深める工夫として、資料に「対話」「見方・考え方」「小地理」「資料活用」「地図帳活用」「思考ツール」など、一目でわかるマークが用いられている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・問いを軸にした単元構成となっており、章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に学習する内容「章の問い」「節の問い」「毎時の学習課題」で示し、生徒自らが学習の見通しをもてるように工夫されている。</li><li>・章のまとめでは、学んだことを確かめた後に、現代社会の見方・考え方を働かせて、自分の考えを整理し、意見交換をして自分の考えを深め、学習内容を統合・深化できるように構成されている。</li></ul>



項目 発行者	特 色
	内 容
1 1 6  日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習課題の解決に向けて手がかりとなる主な「見方・考え方」の例が示され、地理や歴史での学びが生かされるよう工夫されている。</li><li>・毎時間の知識の定着のために、各ページに二次元コードが必ず掲載されており、関連資料や基礎的な知識を確認する小テストがクイズ形式で設けられている。</li><li>・各章に設けられた「明日に向かって（私たちの社会参画）」のページでは、現在の社会課題や今後の対策などについて考える工夫がなされている。</li><li>・「アクティビティ」では、話し合い、学び合いを促す問いが掲載され、具体的な例を挙げ、学習内容を整理し、理解するための工夫がされている。</li><li>・世界と向き合い、未来の創り手となるため「これからの社会をどんな社会にしたいか」という問いで教科書全体が構成されており、SDGs と関連させながら、未来について考えながら学ぶことができるよう工夫されている。</li></ul>
2 2 5  自 由 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・基礎的な内容の理解を促すように語句が厳選されている。また、終章ではレポートと論文の書き方やディベートの方法が示されており、身に付けた知識を活用できるように工夫されている。</li><li>・「ミニ知識」や「もっと知りたい」など、発展的な学習によって理解を深めるページが多く設けられている。</li><li>・各章に「学習のまとめと発展」が設けられ、学習内容を整理してまとめるだけでなく、より深く考え、発展させたり、関連付けたりする工夫がなされている。</li><li>・授業の最後に重要な事項を振り返ることができるよう、「ここがポイント！」が示されている。</li><li>・世界と向き合い、未来の創り手になるために欠かせない「自国の文化や価値を知る」ことができるように、各章に歴史や日本文化・伝統文化を考えるページが設けられている。</li></ul>
2 2 7  育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・「やってみよう」のページでは、発表や議論のしかた、ディベート、KJ 法、ランキングなどが示され、公民の基礎的な技能が身に付けられるよう工夫されている。</li><li>・「学習を深めよう」では、より発展的な学習となる「TRY」が設けられており、考えたり、調べたりするための見方・考え方が示されている。</li><li>・地理・歴史・公民の概念図が示され、時間的なつながりと空間的な広がりの中で自分の立ち位置を知り、社会の様々な事象を「自分事」として捉えるために、教科書冒頭に「なぜ公民を学ぶのか」が示されている。</li><li>・各章に設けられた「入り口」では、各章の学ぶ意味や価値が示され、「これから」でよりよい社会を構想するよう工夫されている。</li><li>・現代社会において、SDGs や公民を学ぶ意義が詳しく掲載されており、知識を身に付けるだけでなく、自分自身に何ができるのかを深く考えることができるよう工夫されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
1 1 6  日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・「公民+α」では、学習内容を生徒が視覚的に捉えやすく、理解を深めたり、発展して考えたりできるようになっている。</li><li>・二次元コードが各ページに配置され、小テストなどを行うことができるようになっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されており、グラフなどの情報を負担なく読み取れる工夫がされている。</li><li>・各節の問いが各ページの左下に明記されており、常に単元を貫く問いを確認できるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・深い学びを実現するために、教科書全体を通して学習課題解決に向けて働かせる「見方・考え方」が示されている。</li><li>・「どのように学ぶのか」を明確にするため、章の問い、節の問いが構造的に配置されている。また、それぞれの問いが資料に合わせて設定されており、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</li></ul>
2 2 5  自 由 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料、写真、イラストが精選されており、内容の焦点化が図られている。</li><li>・「アクティブに深めよう」では、生徒自身が活動を通して考えをまとめることができる資料として、表が掲載されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・行間が広く取られ、フォントも箇所によって大きくなっている。</li><li>・内容理解の補助として本文の周りに用語解説が設けられ、学習課題を自力解決できるように工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ここがポイント！」が各単元に設けられており、授業の最後に重要事項を振り返ることができるよう工夫されている。</li><li>・各章末の「学習のまとめと発展」や、終章のレポート、論文、ディベート等、学習のまとめとなる活動において、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</li></ul>
2 2 7  育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・新聞活用教育（NIE）を促すために、新聞記事が多数掲載されている。</li><li>・各章冒頭に二次元コードを掲載し、学習内容に関連する情報が閲覧できるようにされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用されている。</li><li>・「地理」「歴史」マークがあり、地理や歴史の学習との連携が可能となるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・公民の学習のまとめをプレゼンテーションやレポートでまとめる例が示されており、より学習内容が深化するよう工夫されている。</li><li>・国際情勢や現代的な諸課題に関する知識について、生徒が写真や新聞記事を活用しながら身に付けられるように工夫されている。</li></ul>



## 中学校 地図 調査資料作成の観点

項 目		観 点
特 色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解できるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○地図の読図や作図、景観写真の読み取りなどの地理的技能を身に付けられるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○社会的事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察したり、諸課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○地図や統計などに平素から親しみ、課題の追究・解決のための教材として効果的に活用する意欲を育むために、どのような工夫がされるか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○自ら見いだした問題の解決を目指し、他者と協働しながら追究した結果を振り返ってまとめたり、新たな問いを見いだしたりすることができるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○多様な視点に着目し、課題を追究したり解決したりする活動が展開できるようにするために、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○作業的・体験的な学習を促すために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○資料を活用しやすいように、検索についてどのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○学習効果を高めるために、表記・表現についてどのような工夫がされているか。</p> <p>○読み取りやすいように地図中の地名表記や彩色・配色、土地利用や等高線などについて、どのような工夫がされているか。</p>
総 括		(全体的な特徴、その他)

項目 発行者	特 色
	内 容
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・「Bee's eye」として、課題を追究するために必要な資料やグラフを深く読み取るための問が設定されている。</li><li>・地図中に「ジャンプ」アイコンを示し、他の資料と関連付けて地図を読み取るための工夫がされている。</li><li>・地図中に地域的特色を読み取らせるための問いが設定されており、歴史的背景や様々な状況変化を考えさせるための工夫がされている。</li><li>・各地域の地図上に特産品や地形など、地理的特色への興味関心を引き出す指示やコメントを掲載するとともに、さらにデジタルコンテンツを活用して学びを深めることができるように工夫されている。</li><li>・世界地図のページでは各国の国旗が掲載されているとともに、その地域の自然環境や衣食住が写真等で分かりやすく紹介されている。</li><li>・国際理解につなげるため、文化の違いが紹介されており、地球規模の課題について考えられるように工夫されている。</li></ul>
4 6  帝国書院	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界の各州では、鳥瞰図が取り入れられ、俯瞰的に州の様子を感じ取ることができるよう工夫されている。</li><li>・日本の各地域では、自然・降水量・人口分布・農業・工業の主題図が必ず掲載されている。</li><li>・日本の地方別地図は 100 万分の 1、都市圏図は 50 万分の 1、都市図は 5 万分の 1 などと縮尺が統一されており、他地域との比較が容易になるように工夫されている。</li><li>・歴史的事象、現代的な諸課題などが地図から読み取れるように、位置が記されるとともにアイコンが使用されるなど、他分野・他教科の学習でも活用できるように工夫されている。</li><li>・問いのコーナー「地図で発見！」が示されており、地図の読み取りを通して地理的特色への興味関心を高め、様々な地理的見方・考え方や他分野・他教科との結びつきが深まるよう、工夫されている。</li><li>・ICT の普及や紛争の現状、脱炭素社会の実現に向けてなど、国内外の新しい動きへの理解が深まるような主題図が掲載されている。また、持続可能な社会や SDGs についての資料も豊富に掲載されているほか、関連する資料には専用のアイコンが示されるなど、地球規模の課題に対して生徒が積極的に考えることができるよう工夫されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界の州や日本の地方に関連する地図や資料を閲覧できるデジタルコンテンツに接続するための二次元コードが掲載されている。</li><li>・「環境問題」「資源・エネルギー」など、現代社会の諸課題が取り上げられており、資料から考えさせる工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが使用されており、文字の視認がしやすい工夫がされている。ふりがなにはゴシック体が活用されている。</li><li>・グラフや地図には色覚特性がある生徒に配慮した色分けされている。</li><li>・各地域の特色である産物等が絵記号でわかりやすく表されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・広い範囲の地図が A4 判に拡大されていることで、地図を大きく、見やすくする工夫がされている。</li><li>・地図帳の読み取りに必要な指示や知識の紹介にキャラクターが活用され、わかりやすい言葉で説明する工夫がなされている。</li><li>・各資料（主題図、グラフ等）の項目部分に SDGs の視点が表記されている。</li></ul>
4 6  帝国書院	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界の州や日本の地方ごとに、学習内容を確認したり、深めたりするための二次元コードが掲載されている。</li><li>・各地方において「防災」をテーマとする主題図が必ず掲載されており、日本の自然災害から、防災意識を高める工夫がなされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・インクルーシブ教育への配慮がなされ、UD フォントが使用されるなど全編にわたってユニバーサルデザインが採用されている。また、独自のインキが使用され、発色がよく鮮やかな印刷となっている。</li><li>・様々な絵記号が使用されることで、地域の人々の暮らしぶりや農産物・工業製品などが端的に分かるように工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の紙面は A 版である。</li><li>・UD フォントやカラーユニバーサルデザインなど、誰もが見やすい地図となるように工夫されている。</li><li>・可能な限り縮尺が統一されており、他地域との変化や関係性を追究しやすい工夫がされている。</li><li>・持続可能な社会（SDGs・防災等）に関する様々な資料が掲載されている。</li></ul>

## 中学校 数学 調査資料 作成の観点

項 目		観 点
特 色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解できるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができるようにするために、どのような工夫がされているか</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○数学を活用して事象を論理的に考察する力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○自ら立てた問いの解決を目指し他者と協働しながら粘り強く考え最適な解を見付け、新たな価値を創造することができる人を育てるために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○主体的に、自らの考えを広げ深めながら、新たな考えや価値を創造していく質の高い学びを重ねるために、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○挿絵・写真・図表等の扱いについて、どのような工夫がされているか。</p> <p>○学習効果を高めるために、統計資料等について、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○見やすいレイアウトや読みやすい表現にするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○記号、用語、単位などの表現には、どのような特色が見られるか。</p>
総 括		(全体的な特徴、その他)

項目 発行者	特 色
	内 容
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>各章各節の問題解決の過程が、「問題をつかむ」「見通しをたてる」「問題を解決する」（「自分で考えてみよう」「友達の考えを知ろう」「話し合ってみよう」）「振り返る」「深める」で構成されている。</li><li>章末の問題は、難易度により「A」「B」で構成されており、二次元コードにより解決のヒント及び解答を見ることができるようになっている。「B」では、「自ら進んで取り組む問題」「活用の問題」の表示により、習熟度に応じて取り組むことができるようになっている。</li><li>ICT 活用の工夫として二次元コードにより、各章各節の問題解決のための「シミュレーション」「ワークシート」「対話シート」「フラッシュカード」、練習問題に対する「ヒントと解答」等が用意されている。</li><li>「クイックチェック」で学習者に身につけさせたい問題を用意し、到達度を確認することで、つまづきを早期に発見できる工夫がされている。</li><li>「学びを振り返ろう」「大切にしたい見方・考え方」「振り返りレポート」で、学んだことの大切なポイントやよさについて理解することができるようになっている。</li><li>コラムとして、仕事に数学を使う人々のインタビュー記事が配されている。</li><li>「MATH CONNECT」では、数学と日常生活、社会との関連が示された題材が用意され、数学のよさや有用性を実感できるよう工夫されている。</li></ul>
4  大日本図書	<ul style="list-style-type: none"><li>見開き左右1ページに学習内容を配置しており、学習の過程を見通せる工夫がされている。</li><li>「考えよう」「めあて」「活動」「Q」で学習活動が構成されている。「めあて」では、具体的なゴールが明確化され、続く「活動」「例」「Q」に取り組みやすくなっている。</li><li>ページの右側に、学習過程で大事なまとめや、補充問題「プラスワン」が配されている。</li><li>学習過程の最後に、「学びにプラス」の項目で、発展的な思考や様々な見方・考え方を学ぶことができる記事が掲載されている。</li><li>すべての章に、問題発見・問題解決の流れ（問題を見出そう、解決の仕方を探ろう、解決しよう、深めよう）を示した課題を設けている。</li><li>章末問題は難易度により「○章をふり返ろう」「力をのばそう」で構成されている。また、「活用・探究」には、章で学習した内容を、身近な場面で活用したり、探究したりする教材が掲載されている。</li><li>巻末の「課題学習」は、領域を統合した問題、身の回りや他教科の学習と関連した問題を、「MATHFUL」では数学が生活に生かされていることや、豊かな数学の世界を知ることができる読み物を配している。</li></ul>
1 1  学校図書	<ul style="list-style-type: none"><li>各章各節のはじめに、身の回りの生活や、数学の学習の中にある問題解決を通して、主体的に疑問を発見する「疑問を発見するページ」が設定されており、その章や節の学習につながる学びができるように考えられている。</li><li>各節は、「Question」「目標」「例題」「問」「どんなことがわかったかな」「次の課題へ！」で構成されている。「目標」がはっきり明記され、意識すべきことが分かりやすくなるよう工夫されている。</li><li>「数学へのいざない」では数学の歴史等が、「Tea Break」では数学の本質や発展等が掲載されており、学習内容の数学的な広がりについて考えさせる工夫がされている。</li><li>章末の「○章○○○を学んで」では、章の学習で「できるようになったこと」を確認するとともに「さらに学んでみたいこと」を考えさせ、学習の振り返りができるように作られている。</li><li>「数学的活動のページ」では、問題発見から解決までを話し合い形式で考え、さらに新しい問題を発見する過程が示されており、対話的な学びが実現できるよう工夫されている。</li><li>章末の問題は、難易度により、「基本」「応用」で構成されている。また、「活用」「深めよう」では、身の回りの問題解決に数学を用いる題材が配されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>各章の冒頭では、章の学習で身につけたい力が、イラストや写真を使って説明されている。</li><li>ページの右側に復習のポイントが多く配置されている。</li><li>各章に問題発見・解決の過程を取り入れた「深い学びのページ」が用意されている。</li><li>豊富にある二次元コードの位置が一定に示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>「知識や技能を身につける問題」「思考力や判断力、表現力を身につける問題」がマークの違いで判断できるようになっている。</li><li>デジタルコンテンツの用意がある個所に「シミュレーション」「動画」「フラッシュカード」等の表示がされている。</li><li>UD フォントが採用され、色覚の特性によらない配慮がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>章末の問題は、難易度により「A」「B」で構成されている。二次元コードにより解決のヒント及び解答を見ることができる。「B」では、「自ら進んで取り組む問題」「活用の問題」の表示により、自分の力に応じて取り組むことができるようになっている。</li><li>豊富にある二次元コードの位置が一定に示されている。</li><li>「学びを振り返ろう」「大切にしたい見方・考え方」「振り返りレポート」で、学んだことの大切なポイントやよさについて理解することができるようになっている。</li></ul>
4  大日本図書	<ul style="list-style-type: none"><li>見開き左側ページの上段に「考えよう」「めあて」が明確に記載されている。</li><li>巻末の「課題学習」では、領域を統合した問題、身の回りや他教科の学習と関連した問題を、「MATHFUL」では数学が生活に生かされていることがわかる読み物や、豊かな数学の世界を知ることができる読み物を配している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ほぼすべてのページで、見開き1ページに学習内容（問題発見、めあて、活動、例題、問）が配されている。</li><li>「学びにプラス」がページの下に配され、目に触れやすくなっている。</li><li>実写真が多く使用されている。</li><li>UD フォントが採用され、色覚の特性によらない配慮がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>見開き左右1ページに学習内容を配置しており、学習の過程を見通せる工夫があり、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるようになっている。</li><li>すべての章に、問題発見・問題解決の流れ（問題を見出そう、解決の仕方を探ろう、解決しよう、深めよう）を示した課題が設けられている。</li><li>「活用・探究」では、章で学習した内容を、身近な場面で活用したり、探究したりする教材が掲載されている。</li></ul>
1 1  学校図書	<ul style="list-style-type: none"><li>「Question」には、対話しながら、数学的な見方・考え方に気づく工夫がされている。</li><li>巻末の「さらなる数学へ」では、1年間の学習内容を生かして解決できるSDGsに関連した課題が用意されている。</li><li>二次元コードによりデジタルコンテンツ等を視覚的に判別できる工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>「Question」の部分が色や幅を工夫したレイアウトになっている。</li><li>章始め導入課題の下部に「次の課題へ！」で導入課題と学習内容がつながるよう工夫されている。</li><li>1年生の素因数分解の学習以降、教科書のページ番号の素因数分解が併記されている。</li><li>UD フォントが採用され、色覚の特性によらない配慮がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>各章各節のはじめに、身の回りの生活や数学の学習の中にある問題解決を通して、主体的に疑問を発見する「疑問を発見するページ」が設定されており、その章や節の学習につながる学びができるようになっている。</li><li>「Tea Break」では、学習する生徒から出てくる疑問に触れ、数学の本質や発展問題などに興味・関心をもって取り組めるようになっており、「数学へのいざない」では、章の内容を深めたり広めたりする事象を通して、数学の面白さを実感できるようになっている。</li></ul>

項目 発行者	特 色
	内 容
1 7  教育出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習の過程を「例題」「たしかめ」「問」の順で取り組めるように構成されている。</li><li>・「まちがい」では、誤答例を示すことで、注意するポイントを学ぶことができるよう工夫されている。</li><li>・「!」「?」「! ?」において、キャラクターの言葉を介して、学習を通した気付きや疑問が示唆されており、次の学習につながるよう工夫されている。</li><li>・主に知識・技能を活用する場面に「学びのプロセス」のページが設けられ、「問題を見いだす」「問題をつかむ」「見通しを立てる」「問題を解決する」「ふり返る」「深める」の問題発見・解決の過程が示されている。</li><li>・章末の問題は、難易度により「たしかめよう」「力をのばそう」で構成されている。「力をのばそう」には、二次元コード「まなびリンク」が付されており、問題解決のヒントを知ることができる。さらに「学んだことを活用しよう」では、身の回りの問題解決に数学を用いる題材が配されている。</li><li>・「数学しごと人」では、社会で活躍する人々のインタビュー記事が掲載され、実社会で数学が役立っていることや数学を学ぶ意義を実感できるよう工夫されている。</li></ul>
6 1  新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"><li>・「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」にある発問により、事象を考察する力を身につけたり、仲間に自分の考えを伝えたりする活動を取り入れる工夫がされている。</li><li>・「例」「例題」のあとに、適用問題としての「問」が配されており、豊富な数の問題が掲載されている。さらに二次元コードによる補充問題も用意されており、基礎的・基本的な知識・技能が身につくような工夫がされている。</li><li>・章末の問題は、幅広く問題が用意され、難易度により「学びを確かめよう」「学びを身につけよう」で構成されている。二次元コードにより解決のヒント及び解答を見ることができるようになっている。「学びを身につけよう」には問題を解説する動画を見ることができ、自学で取り組める工夫がされている。</li><li>・章末の「○章のあしあと」では、学習した内容を振り返る場面が設けられており、学習した内容の振り返りが例示されている。</li><li>・巻末「学びをいかそう」では、数学を学習する有用性を実感し、次の学びを発見できるような問題が配されている。</li></ul>
1 0 4  数研出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・各章の前に、章の学習に必要な既習事項をふり返ることができる「ふりかえり」のページが設けられ、既習内容とのつながりを知ることができるよう工夫されている。</li><li>・「Try」の問題では、解き方を比較したり、説明したり、数学的活動を通して考えさせたりする問題が設けられており、様々な見方・考え方ができるように工夫されている。</li><li>・各章の節ごとに、「確認問題」が配されており、豊富な数の問題が掲載されている。</li><li>・キャラクターの対話によって、気付きや多様な考え方に触れることができるよう工夫されている。</li><li>・章末の問題は、難易度により「問題A」「問題B」で構成されている。さらに、「学んだことを活用しよう」では、身の回りの問題解決に数学を用いる題材が配されている。</li><li>・巻末に「学びの自己評価」が設けられ、学習を通して身につけたい力を確認するためのチェックリストを配し、学習の振り返りに活用できるよう工夫されている。</li><li>・各ページの右端に、問題を考えるためのヒントや学習で学んだことのまとめ、数学で使用する標記の仕方等、学習のポイントが明記されている。</li></ul>

(中学校 数学)		令和6年7月2日 調査専門員長 田中 和浩	
項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
1 7  教育出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・各章の前項に「～を学習する前に」を配し、学習に必要な既習事項を復習することができるようになっている。</li><li>・「数学の広場」で、数学の学習内容を深めたり、日常生活や他教科の学習に活用したりできる資料が掲載されている。</li><li>・巻末に豊富な練習問題が掲載されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各章の発展的な学習では、学びのプロセスが明記されている。</li><li>・「問題」「例題」「練習問題」などの表記の色合いが、單元ごとに統一されている。</li><li>・索引にて、数学用語の英語表記が併記されている。</li><li>・UD フォントが採用され、色覚の特性によらない配慮がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「!」「?」「! ?」において、キャラクターの言葉を介して、学習を通した気づきや、疑問が示唆され、次の学習につながるよう工夫されている。</li><li>・章末の問題は、難易度により「たしかめよう」「力をのばそう」で構成されている。「力をのばそう」には二次元コードが付されており、問題解決のヒントを知ることができる。さらに「学んだことを活用しよう」では、身の回りの問題解決に数学を用いる題材が配されている</li></ul>
6 1  新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"><li>・デジタルコンテンツが豊富であり、動画やシミュレーションにより解決の糸口を発見できるよう工夫されている。</li><li>・「数学ライブラリー」では、日常の中にある数学について紹介する記事が掲載されている。</li><li>・各章の発展的な学習では、数学的な問題発見・解決の過程を取り入れた「ステップ方式」が示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・章末の「○章のあしあと」では、学習内容を振り返る場面が設けられている。</li><li>・デジタルコンテンツの用意がある個所に「動画」「動かす」「プログラミング」「スライドショー」「学習したこと、解答」「考え方、解答、解説動画」等の表示がされている。</li><li>・UD フォントが採用され、色覚の特性によらない配慮がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「例」「例題」のあとに、適用問題としての「問」が配されており、豊富な数の問題が掲載されている。さらに二次元コードによる補充問題も用意されている。</li><li>・章末の問題は、幅広く問題が用意され進度や習熟度により「学びを確かめよう」「学びを身につけよう」で構成されており、個別最適な学びの実現に向けた配慮がされている。</li><li>・デジタルコンテンツが豊富であり、動画やシミュレーションにより解決の糸口を発見できるよう工夫されている。</li></ul>
1 0 4  数研出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・各章の前項に振り返りのページが設けられ、学習に必要な知識を振り返る場面が設けられている。</li><li>・「Link 補充」「Link イメージ」「Link 資料」「Link 考察」「Link 探究」の表示により二次元コードで学びに役立つコンテンツが用意されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・例や問における場面で、数学的な記述の仕方や気を付けなければならない考え方が「注意!」というマークと共に明記されている。</li><li>・二次元コードはページ下部に配置し、ページ内は「Link」マークのみにして、必要な情報が捉えられる工夫がされている。</li><li>・UD フォントが採用され、色覚の特性によらない配慮がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「Try」の問題では、解き方を比較したり、説明したり、数学的活動を通して考えさせたりする問題が設けられており、様々な見方・考え方ができるように工夫されている。</li><li>・巻末に「学びの自己評価」が設けられ、学習を通して身につけたい力を確認するチェックリストを用意し、左のページは自立的な学び、右のページは協働的な学びの視点で、学び方の振り返りに活用できるよう工夫されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色
	内 容
1 1 6  日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き左右1 ページに、「Q」「めあて」「例」「問」がまとめられており、学習の見通しをもったり、学習の振り返りをしたりする活動ができるよう工夫されている。「やってみよう」の問題では、発展的な内容が明示され、質の高い学びが実現できるよう工夫されている。</li><li>・「次の章を学ぶ前に」のページでは、次の章の学習で必要となる既習事項について確認する問題が配されている。</li><li>・「学び合おう」の問題では、日常生活や社会事象、数学の事象から問題を見いだし解決する過程を学ぶことができるよう工夫されている。また、巻末には、問題解決に活用するワークシートが用意されており、仲間と対話をしながら学習が進められるよう工夫されている。</li><li>・ページの右端に「大切な見方・考え方」の吹き出しを配し、その学習で活用する数学的な考え方が確認できるよう工夫されている。</li><li>・章末の問題は、難易度により「○章の問題」「とりくんでみよう」で構成されている。</li><li>・「学びに向かう力を育てよう」では、巻頭及び各章各節の中で、数学の学習で身につけたい学びに向かう力について明示し、評価の観点が明確にされている。</li></ul>

(中学校 数学)		令和6年7月2日 調査専門員長 田中 和浩	
項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
1 1 6  日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻末に「学び合おう」で使用するワークシート「振り返りシート」「対話シート」が用意されている。</li><li>・各章に「数学のたんけん」を配し、学んだ内容に関連した数学の話題が資料として示されている。</li><li>・「見る」「ためす」「身につける」「調べる」等の表示により二次元コードで学びに役立つコンテンツが用意されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き左右1 ページで、「Q」「めあて」「例」「問」がまとめられている。</li><li>・索引に、数学用語の英語表記が併記されている。</li><li>・ページの右端に、「大切な見方・考え方」として、補足や考え方等が付されている。</li><li>・UD フォントが採用され、色覚の特性によらない配慮がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き左右1 ページで、「Q」「めあて」「例」「問」がまとめられており、学習の見通しをもったり、学習の振り返りをしたりする活動ができるよう工夫されている。</li><li>・ページの右端にある「大切な見方・考え方」の吹き出しでは、その場面で活用する数学的な見方・考え方が具体的に示されており、それを働かせながら数学的活動に取り組めるように工夫されている。</li></ul>

## 中学校 理科 調査資料作成の観点

項 目		観 点
特 色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付くようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する学習活動が充実するために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○問いの解決を目指し、他者と協働しながら最適な解を見付けられるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○事故防止や環境保全に関する事項の取り上げ方について、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習の効果を高めるために、資料についてどのような工夫がされているか。</p> <p>○挿絵、写真、図表などの位置と本文との関連において、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○記号、用語、単位などの使い方について、どのような工夫がされているか。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階に応じてどのような工夫がされているか。</p>
総 括		(全体的な特徴、その他)

項目 発行者	特 色
	内 容
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻頭の「探究の流れを確認しよう」では、学習活動が「問題発見→課題→仮説→構想→観察・実験→分析解釈→検討改善→結論→振り返り→活用」と示され、課題解決能力の育成を図る工夫がされている。</li><li>・写真やイラストが大きく掲載されている。印象的な写真やイラストとともに、単元扉には「スタート動画」が用意されており、視覚的に生徒の学習意欲を促し、主体的な学びにつながる工夫がされている。また、学習の流れが意識され、視線の移動が少ないレイアウトになっており、視覚的にわかりやすい紙面が構成されている。</li><li>・単元と章の始めと終わりの「Before &amp; After」に、学習内容に関する本質的な問いかけが設定されており、自己への認識を促し、自己肯定感が高まる工夫がされている。</li><li>・デジタルコンテンツが掲載されることで、探究的な学習のサポートとなるとともに、生徒のニーズや学習形態に応じて使用することができ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られている。</li><li>・巻頭や巻末に、理科室の決まりや薬品の取り扱いの注意点が、観察・実験のページには二次元コードが掲載され、注意点がマークやアイコンで示されるなど、安全面への配慮がなされている。</li></ul>
4 大日本図書	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻頭の「理科の学習の進め方」では、課題の「把握」「探究」「解決」の過程が示されている。探究の過程においては「問題をみつけよう」「計画をたてよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」のマークが設けられており、「話し合おう」で示された具体的な対話場面において、協働的に学びを深められるよう工夫されている。</li><li>・単元の冒頭に「これまでに学習したこと」が1ページでまとめられており、学習をした時期や内容が確認できるよう工夫されている。</li><li>・観察・実験には、「目的」「着目点・コツ」「結果の整理」「結果から考えよう」がわかりやすく示され、見通しをもって活動できるよう工夫されている。</li><li>・「章末問題」「単元末問題」では、基礎的・基本的事項の確認が、また、単元末の「読解力問題」では、思考力の育成ができるよう工夫されている。</li><li>・巻頭の「理科室のきまり」や巻末の「薬品の扱い方」によって、安全面への配慮がなされている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・「まちなか科学」や「歴史にアクセス」など読み物が多数掲載され、魅力的な写真やイラスト等も豊富に掲載されている。</li><li>・単元末に「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」が示されている。</li><li>・小単元ごとに二次元コードで「Before &amp; After シート」というワークシートが掲載されている。</li><li>・二次元コードが関連のある場所に掲載されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本文、図、注釈など、主要な書体にはUD フォントが採用され、読みやすいよう工夫されている。</li><li>・単元末の「学習内容の整理」では全ての漢字に振り仮名が付けられ、多様な生徒が学習に取り組みやすいよう配慮されている。</li><li>・二次元コードの下には、「スタート動画」「ワークシート」等、デジタルコンテンツの内容が表示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・探究の過程が丁寧に扱われており、課題解決能力の育成を意識して構成されている。また、学習活動の最後には活用の場面が必ず設けられており、教科の学習と日常生活のつながりを実感できるよう工夫されている。</li><li>・教科書の随所に身の周りの事象やキャリア教育などを題材にした読み物資料が掲載されており、理科の学びを深め、有用性を実感できるよう工夫されている。</li><li>・二次元コードが豊富に掲載されており、問題発見から考察、振り返り、活用の場面まで、様々な学習活動において活用できるよう工夫されている。</li></ul>
4 大日本図書	<ul style="list-style-type: none"><li>・伝統や文化、歴史、日常生活や社会との関連、職業との関連など、生徒の興味・関心を高める記事が掲載されている。</li><li>・単元のまとめでは、重要用語が整理されている。</li><li>・巻末に、薬品の取り扱い一覧が掲載されている。</li><li>・基本操作や読み物に二次元コードが掲載されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本文ではUD フォントが採用され、重要語句はゴシック体を使用し、振り仮名が付けられている。</li><li>・本文が簡潔に書かれており、読みやすくまとめられている。</li><li>・イメージ図や比較写真が、見やすく配置されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・判型が B5 判となっており、本文が短くまとめられ、単元のまとめのページでは、重要語句が一覧にまとめられている。</li><li>・実験での注意喚起が見やすく示され、巻末に薬品の取り扱いが掲載されるなど、安全に配慮されている。</li><li>・各所にマークがついており、必要事項を注目させ、基本操作に二次元コードが掲載されている。</li></ul>



項目 発行者	特 色
	内 容
1 1 学 校 図 書	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻頭の「探究のページ」では、探究の手法が「課題をとらえる」「実施する」「結果から考察する」という大きな流れとともに、「気づき」「ふり返し」も含めて段階的に示されており、共通した流れで学習を進めることができるよう工夫されている。</li><li>・単元の冒頭では、「学びのあしあと」で課題が示され、単元の学習を始める前後で、考えがどのように変容したのかを確かめられるよう工夫されている。また、「ふり返ろう・つなげよう」には既習事項がまとめて示されており、これまで学習したことを生かして単元の学習に進むことができるよう工夫されている。さらに、「Can-Do List」では、単元を通して身に付けたいことやどのように取り組んでいくかが示されている。</li><li>・ページ上部に、「この時間の課題」が示されており、小單元ごとの目標が明確になるよう工夫されている。また、課題解決のはじまりが、話し合いの形式で示されており、自分の意見だけでなく、様々な考え方にふれながら探究を進めていくことができるよう工夫されている。</li><li>・巻末の補充資料に、思考力をさらに深める課題や、読解力強化問題が示され、単元で学習した内容をさらに深めることができるよう工夫されている。</li><li>・巻末に「理科室の使い方」や「薬品のあつかい」が掲載され、安全面への配慮がなされている。</li></ul>
1 7 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻頭の「探究の進め方」では、「疑問を見つける」「課題を決める」「仮説を立てる」「計画を立てる」「観察・実験する」「考察する」「結論を示す」のマークが示され、生徒が見通しをもって学習を進められるように工夫されている。</li><li>・本文中に「調べよう」「話し会おう」「計算しよう」「演習しよう」「活用しよう」「考えよう」など、科学的に考える場面が多く設定されている。話し合いの場面では、生徒キャラクターによって話し合いのヒントが示されるなど、主体的で対話的な学びを充実させる工夫がなされている。</li><li>・単元の冒頭に「学んでいくこと」が示され、章の導入では「これまでの学習」により小学校での学習の振り返りができるよう工夫されている。</li><li>・「要点をチェック」「要点と重要語句の整理」「基本問題」「活用問題」「学年末総合問題」の5段階のステップで基礎的・基本的な知識や技能を習得できるよう工夫されている。</li><li>・「理科室のきまりと応急処置」が各学年の巻頭に掲載され、また、禁止のマークや注意のマークがついた警告文も記載されており、安全面への配慮がなされている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
1 1 学 校 図 書	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻末の補充資料には、基本操作や具体的な資料が豊富に掲載されている。</li><li>・「理路整然」では、探究を深めるためのポイントや考察の仕方が掲載されている。</li><li>・小単元の巻頭にSDGsとの関連が示されている。</li><li>・各ページ上部に二次元コードが統一し、掲載されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用され、重要語句は太字が使用され、読みやすくなるよう工夫されている。</li><li>・探究の課題は背景が黄色で塗りつぶされ、注意は赤字で表記され、目立つように記載されている。</li><li>・観察・実験の写真が豊富に掲載されており、レイアウトも見やすくなるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・課題をとらえる場面から観察・実験の方法、考察の場面まで丁寧に扱われており、探究の進め方を重視した構成になっている。</li><li>・単元ごとの課題だけでなく、毎時間の課題とまとめが「この時間の課題」「まとめ」として示されており、見通しをもって学習できるように工夫されている。</li><li>・基本操作、資料、思考力をさらに深める問題など、巻末の補充資料の内容を充実させることで、単元の学習内容が分かりやすく示されるよう工夫されている。</li></ul>
1 7 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・発展的な学習内容を中心に、探究的な読み物資料が豊富に掲載されている。</li><li>・巻末資料「校外の施設を利用しよう」には、地域にある博物館等の施設が示されている。</li><li>・写真やイラストが豊富に掲載されている。</li><li>・二次元コードはページ番号横に統一し、掲載されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・色覚の特性を考慮し、カラーユニバーサルデザインが採用されている。</li><li>・本文はUD フォントが採用され、重要語句は朱書きのゴシック体で、振り仮名がふられている。課題や公式は下地の色を変え、視覚的にも目立つよう配慮されている。</li><li>・二次元コード横には、「Web ずかん」「3D モデル」等、デジタルコンテンツの内容が表示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・探究の学習を重視して構成されている。巻頭に探究の進め方が折り込みで設けられ、どの学習段階にいるのかをいつでも確認できるよう工夫されている。</li><li>・読み物資料が多く掲載され、理科の有用性を感じられる工夫がされている。</li><li>・「理科室のきまりと応急処置」には、地震や感染症に対する対策が掲載されており、また、指示・禁止・注意の表示がマークで示され、安心・安全への配慮がなされている。</li></ul>

項目 発行者	特 色
	内 容
6 1  新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻頭の「この教科書の使い方」では、学習の展開が「疑問(導入)→課題→仮説→計画→観察・実験→結果→考察→表現(まとめ)」の一連の流れが示され、生徒が見通しをもって学習を進められるように工夫されている。</li><li>・「Action」のコーナーでは、別の場面に結びつけられる発問を掲載することで、学習内容を様々な場面に適応する力を身に付けられるよう工夫されている。</li><li>・生徒が行う実験と、演示実験・代替実験として活用できる実験が掲載されており、柔軟な活動計画が組み立てられるよう工夫されている。また、各単元に1つ「探Q実験」が設定されており、「探Qシート」を使って生徒が主体的かつ探究的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。</li><li>・SDGsに関する話題や日常に関連する科学コラムが掲載されており、理科との関連を意識するとともに、自分なりの意見をもつきっかけとなるよう工夫されている。</li><li>・観察・実験でのICTの活用が例示され、問題の例題には解説動画があり、単元末の「力だめし」には「動画でチャレンジ!」が掲載されている。</li><li>・物質単元の最初に「実験を正しく安全に進めるために」が掲載されており、ガラス・薬品の扱い方、気をつけたい実験操作がまとめ安全に配慮されている。</li></ul>

(中学校 理科)		令和6年7月2日 調査専門員長 田中 一秀	
項目 発行者	特 色	総 括	
	資 料		
6 1  新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"><li>・「部活ラボ」「お料理ラボ」「お仕事ラボ」など日常との関わりが伝わる読み物が多数掲載されている。</li><li>・印象的な自然写真や日常とつながる写真・資料が掲載されている。</li><li>・数学の基本事項が必要な箇所に、「算数・数学と関連」コーナーがある。</li><li>・二次元コードが関連のある場所に掲載されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・メディアユニバーサルデザインやUDフォントを採用し、重要語句は太字のゴシック体でふりがながついている。</li><li>・実験の注意事項が、マークや赤字で分かりやすく表示されている。</li><li>・挿絵には男女の服装や役割を固定せず、性別・人種・身体的特徴に配慮したものになっている。</li><li>・二次元コードの下には、「動画問題」「解説動画」等、デジタルコンテンツの内容が表示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「探Qシート」「探Qクラブ」「Action」のコーナーでは探究的に課題解決に取り組み、思考する場面設定がなされている。</li><li>・本文中の「例題」、章末の「Review」、単元末の「学習のまとめ」「力だめし」「動画でチャレンジ」、巻末の「学年末総合問題」で内容の定着を図ることができる工夫がなされている。</li><li>・理科の有用性や他教科との関連を感じられる資料が多数掲載されている。</li><li>・二次元コードが豊富に掲載されており、発表資料や問題、解説など、様々な学習活動において活用できるよう工夫されている。</li></ul>

中学校 音楽（一般） 調査資料作成の観点

項 目		観 点
特 色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける上で、題材の設定、題材構成、教材の配置などについて、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむ態度を養い豊かな情操を培うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、よりよい音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさを見出したりするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○生活や社会の中の音や音楽の働きの視点や、音楽文化を継承、発展、創造していこうとする態度の育成のためにどのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習意欲を高めたり、発想を広げたりするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等の資料のレイアウトについて、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○表現教材や鑑賞教材の譜例の用い方など、楽譜の提示方法について、どのような工夫がされているか。</p> <p>○音符、休符、記号、音楽に関わる用語の取り扱いについて、どのような工夫がされているか。</p>
総 括		(全体的な特徴、その他)

項目 発行者	特 色
	内 容
1 7  教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻頭の「With My Heart 音楽はメッセージ」では、特徴的な活動を展開する音楽家から中学生へのメッセージを紹介することで、音楽的な見方・考え方を働かせた学習に導く工夫がされている。</li><li>・目次に続くページには、学習内容の関連を図った「学習 MAP」が示され、教材と適切な学習の進め方を提示し、学びを深める工夫がされている。</li><li>・各教材には、学習内容を明確にするための学習のポイントや作曲家からのメッセージ、題材名（育成を目指す資質・能力）、楽曲に関連する音楽記号などが簡潔に示され、楽譜を中心に据えた構成により知識及び技能が着実に定着できるよう工夫されている。</li><li>・生徒が自分の音楽表現に対する思いや意図を記入したり、演奏のよさや価値について交流したりするスペース「Active！」が多くの教材に設けられており、音楽表現を主体的に工夫する過程を重視した内容となっている。</li><li>・「Sing！ Sing！」では、歌うためのワンポイントアドバイスがイラストや図を用いて提示されており、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。</li><li>・創作のページ「音のスケッチ」では、多様で体験的な学習活動が展開できるよう、3年間の系統性や発展性を踏まえ、意欲を高める学習活動が幅広く設定されている。また、「チャレンジ」や「もっと楽しもう」のコーナーには作品をさらに深めるヒントが記載されており、よりよい作品を作るための工夫がされている。</li><li>・鑑賞教材である「雅楽」や「能」「歌舞伎」では、体験コーナーが設けられ、表現活動を通して我が国の伝統文化に親しむ工夫がされている。また、舞台芸術であるオペラと歌舞伎を対比させ音楽文化への理解を深めたりするなど、多様な学習活動の工夫がされている。</li></ul>
2 7  教 育 芸 術 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻頭や口絵には、我が国を代表する音楽関係者のメッセージや、音楽の本質を考える「音楽ってなんだろう」のコラムが紹介されており、学びに向かう力やより広い価値観を養うための工夫がされている。</li><li>・目次に続くページには、学習指導要領に示された資質・能力とそれに対応する学習内容や教材が示されており、どのような音楽の力を身に付けられるのかがわかる工夫がされている。</li><li>・各教材には、学習のねらいや活動の手順が分かりやすく示されており、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるような工夫がされている。</li><li>・創作のページ「My Melody」「Let’ s Create！」では、学習を進めるための手順が示されており、具体的な作品例やキャラクターによる吹き出しのコメントにより、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。</li><li>・「学びのコンパス」では、友達と意見交換をしながら曲の構成や曲想の変化についてまとめるワークシート等が用意されており、主体的・対話的で深い学びを実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点が具体的に示されている。</li><li>・「音楽の学びを振り返ろう」のコーナーにおいて、音楽の授業で学んだ内容を、プレゼンテーションにまとめ発表する方法が提示されており、生徒が主体的に学習に臨むことができるよう工夫されている。</li><li>・地域に伝わる祭りや芸能が身近に感じられるよう、実際に活動する様子が数多く紹介されており、郷土の伝統芸能を受け継ぐ大切さについて理解を促す工夫がされている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
1 7  教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・目次に二次元コードが掲載された「まなびリンク」では、教科書の内容にリンクした動画や音声の試聴、ワークシートの活用などにより、生徒が主体的な学習に取り組むことができるようになっている。</li><li>・巻末には折り込みを利用した3ページ構成のビジュアル図鑑が掲載され、多様な楽器や舞台芸術などの情報を見渡すことで音楽を愛好する心情を育てる工夫がされている。</li><li>・国歌「君が代」については、さざれ石の写真と共に歌詞の大意が示され、国歌に込められた思いや願い、互いに尊重し合うことの大切さにも触れられている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・楽曲に関連する音楽用語と記号については、読み方が示されるとともに巻末の楽典ページも記載されており、容易に検索することができるよう工夫されている。</li><li>・教科書全体が落ち着いた色彩でまとめられ、学習に集中できるようにレイアウトや配色に配慮がされている。</li><li>・「学びのポイント」にはUD フォントが使用され、見やすく配慮されている。</li><li>・美しくダイナミックな写真を用いることで、歌詞の表す情景を表し、情操豊かに表現できるよう工夫されている。</li><li>・二次元コードの下にはデジタルコンテンツの内容が表示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・美しい写真や図版により、歌詞の内容や音楽の内容を豊かに表現することのできる工夫がされている。また、学習内容がアイコンで示されることで、見やすく整理されている。</li><li>・様々な分野のアウトリーチを紹介することで、また、それらを SDGs と関連させることで、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成が図られるよう工夫がされている。</li></ul>
2 7  教 育 芸 術 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるために、クラシック音楽やポピュラー音楽など多彩なジャンルの作品を豊かに紹介する資料が数多く掲載され、生徒が興味・関心をもって学習を進めることができるよう配慮されている。</li><li>・曲紹介や動画などのコンテンツを閲覧できる二次元コードでは、教科書の内容に対応させ学習に役立つ情報が説明されている。</li><li>・国歌「君が代」については、オリンピック等の写真を添えて、国家・国旗と国際的儀礼について触れられている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻末には楽典事項が「音楽の約束」として取りまとめられており、基本的な内容の確認が容易にできるように配慮されている。</li><li>・「ルールを守って音楽を楽しもう」のコーナーが各学年に配置されており、著作権について触れられている。</li><li>・タイトルや文章、楽譜中の歌詞にはUD フォントを使用し、見やすくより学習しやすくなるよう配慮されている。</li><li>・時代背景や社会情勢などに関連させた「この頃、日本では…！？」のコーナーなどが掲載され、社会との教科横断的な学びを深めるための工夫がされている。</li><li>・二次元コードの上部にはデジタルコンテンツの内容が表示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・中学生が地域に伝わる祭りや芸能に取り組む様子が数多く紹介された資料や豊富な写真が掲載されており、郷土の音楽文化や我が国の伝統音楽を尊重する態度を養うことができるよう工夫されている。</li><li>・各学年に「生活や社会の中の音や音楽」のコーナーが設けられ、学びを通して、生徒自身が音楽の意味や価値を考え、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるように工夫がされている。</li></ul>

中学校 音楽（器楽合奏） 調査資料作成の観点

項 目		観 点
特色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける上で、題材の設定、題材構成、教材の配置などについて、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○音楽表現を創意工夫することや音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うためにどのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、よりよい音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさを見出したりするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○生活や社会の中の音や音楽の働きの視点や、音楽文化を継承、発展、創造していこうとする態度の育成のためにどのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習意欲を高めたり発想を広げたりするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等の資料のレイアウトについて、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○表現教材や鑑賞教材の譜例の用い方など、楽譜の提示方法について、どのような工夫がされているか。</p> <p>○音符、休符、記号、音楽に関わる用語の取り扱いについて、どのような工夫がされているか。</p>
総 括		(全体的な特徴、その他)

項目 発行者	特 色
	内 容
1 7  教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻頭や口絵には、本教科書で出会う和楽器の演奏に関する写真や、リコーダーなど表現活動で扱う楽器と、楽器の背景にある文化や伝統を考えるページの写真が掲載され、生徒の器楽表現に対する興味・関心を高め、主体的に表現活動へ取り組むことができるような工夫がされている。</li><li>・ストリート・ピアノを例に、楽器を通じた人と人とのつながりを生み出す取り組みが紹介されている。</li><li>・全体の構成は、「演奏の仕方を身に付けよう」「合わせて演奏しよう」の2つに大きく分かれており、基礎的な技能を習得するページと、それらを活用して演奏をするページとに分かれている。</li><li>・学習する楽器の種類がリコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓の順でまとめられ、それぞれの区切りのページに『楽器の名手からのメッセージ』が掲載されるなど、音楽的な見方・考え方のヒントになるコーナーが設けられている。</li><li>・「表現の仕方を調べてみよう」のコーナーでは、楽器の種類やカテゴリーごとに、それぞれの楽器の共通点が示され、主体的に気付き、学びが深められるような工夫がされている。</li><li>・リコーダーの学習では、見開きごとに「学びのねらい」が設定されており、技能が平易な楽曲からまとめの楽曲までステップを踏んで演奏することで、知識や技能が確実に定着するような工夫がされている。</li><li>・篠笛と尺八の学習では、適宜、唱歌が表記されており、唱歌全般についてまとめたページにより、唱歌の役割や楽器による特徴などが一目で理解できるよう配慮されている。</li></ul>
2 7  教 育 芸 術 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻頭には、演奏者の楽器や音楽への思いや「音楽ってなんだろう」のコラムなどが掲載されており、生徒自身が生活や社会の中の音や音楽について幅広く考え、音楽の価値観を高める学習へ取り組むことができるよう工夫されている。</li><li>・全体の構成では、目次にある、学習内容の横に、音楽を形作っている要素を示したり、教材と学習内容との関連を示したりすることで、題材間の系統性が見えるよう工夫がなされている。</li><li>・たくさんの写真や図版を用い、わかりやすく説明することで、音楽の幅広い知識や技能を獲得できるよう工夫されている。</li><li>・「学びのコンパス」のコーナーでは、キャラクターの吹き出しにより、主体的・対話的な学習を促す工夫がされている。また、アーティキュレーションやパートの役割等について表現を深めるための具体的な手順が示されており、他者と共に音楽をつくり上げたり、豊かな表現活動に活かしたりできるような工夫がされている。</li><li>・リコーダーの学習では、内容を Lesson 1 ～ 4 に分け、段階的に技能の習熟を図る工夫がなされている。また、既習のソプラノリコーダーを併用し、小学校における学習内容を踏まえながら、生徒の実態に応じて学習が展開できるような工夫がされている。</li><li>・箏の学習では、奏法についての様々な紹介や日本の音階を使った創作教材などが用意されており、器楽分野と創作分野の関連を図った学習が展開できるよう配慮されている。</li><li>・巻末には「楽しもう！和楽器の音楽」として、部活動を通して和楽器の合奏に取り組んでいる中学生が紹介されており、我が国の伝統的な音楽や楽器への親しみがもてるような工夫がされている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
1 7  教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・目次に二次元コードが掲載された「まなびリンク」では、教科書の内容にリンクした動画や音声の試聴、学習資料の活用により、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。</li><li>・「名曲旋律集」では、歌唱分野や鑑賞分野との関連を図った教材が取り上げられており、楽器への興味や関心を高めるための工夫がされている。</li><li>・「弾く楽器の仲間たち」では、世界地図が掲載され、世界に様々な楽器があることを知ることで、国際理解につながるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・楽器の奏法などといった基礎的な内容の説明について図形等で示し、わかりやすく整理されたデザインによって表現活動への意欲を向上させる工夫がされている。</li><li>・「学びのポイント」にはユニバーサルデザインフォントを使用し、見やすくなるよう配慮されている。</li><li>・「学びリンク」の中に実際の音源が入っていたりするなど、視覚的・聴覚的にも理解できるよう工夫がされている。</li><li>・二次元コードの下にはデジタルコンテンツの内容が表示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・器楽表現のために必要な基礎の習得から、多彩な組合せによるアンサンブルや音楽的な見方・考え方を働かせる創作教材まで、進んで学び合いながら豊かな音楽表現を追求できる工夫がされている。</li><li>・日本の楽器と世界の諸民族の楽器について、「吹く楽器」と「弾く楽器」の特徴を整理したり、気が付いたことを紹介し合ったりするなど、背景にある文化や伝統、構造について学ぶことができる工夫がされている。</li><li>・義務教育9年間で一貫して実践できる創作活動のページが設けられており、学習内容の系統性が確保されている。</li></ul>
2 7  教 育 芸 術 社	<ul style="list-style-type: none"><li>・「My Melody」のコーナーでは、器楽と創作との関連を図られ、日本音階を使って、まとまりのある旋律を作ることで、分野間の横断的な学習を促す工夫がなされている。</li><li>・演奏家についての情報や、学習をサポートする参考資料が閲覧できる二次元コードが掲載されており、楽器への興味や関心を高める工夫がされている。</li><li>・親しみのある単旋律を取り上げた「楽器でMelody」では、楽器に親しみながら、自主的に取り組めるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが親しみやすい楽譜や文章になるよう配慮されている。</li><li>・巻末の「楽器の図鑑」では、世界の様々な楽器が7つに分類され、一目で見渡すことができるよう工夫されている。</li><li>・「ギター/キーボードコード表」が掲載されており、器楽の学習をサポートできるよう工夫されている。</li><li>・二次元コードの上にはデジタルコンテンツの内容が表示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・和楽器奏者のエキスパートからのメッセージが、各楽器の冒頭ページに記載され、和楽器への興味・関心を高める工夫がされている。</li><li>・様々な楽器による編成や、多彩なジャンルの音楽に触れられる合奏曲が掲載されており、生徒の創意工夫を生かして活動できる工夫がされている。</li><li>・和楽器奏者によるメッセージや和楽器を演奏する中学生の紹介、鑑賞教材と関連させたアンサンブル曲やバンドによるポピュラー曲の演奏の紹介が掲載されており、生徒自身が音楽文化を尊重したり、継承したりしていこうとする態度を育成する工夫がされている。</li></ul>

中学校 美術 調査資料 作成の観点

項 目		観 点
特色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○対象や事象を捉える造形的な視点を理解できるように、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるように、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練るために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めるために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○コミュニケーションを通じて他者と関わりながら活動する上で、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○人間ならではの感性、創造性を発揮できるよう、〔共通事項〕の十分な指導が行われるように、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習意欲を高めたり、発想を広げたりできるよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○制作過程や仕組み、材料や用具の安全な使い方などを理解できるよう、どのような工夫が見られるか。</p>
	表記・表現	<p>○題材の示し方や説明文には、生徒の興味・関心・意欲を高めたり、学習内容の理解を深めたりするために、どのような工夫が見られるか。</p>
総 括		(全体的な特徴、その他)

項目 発行者	特 色
	内 容
9 開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・題材を通して育成を目指す資質・能力が、観点別に「知」「思」「学」の一文字で整理され、目標として言葉で表記されている。</li><li>・題材が4ページで構成され、授業の導入から、知識・技能の習得、発想や構想のサポート、振り返りまでの授業展開を意識できるよう工夫されている。</li><li>・「美術の用語」が提示されることで、正しい知識を身に付け、理解を深められるよう工夫されている。</li><li>・生徒作品の写真が大きく掲載されており、構想のためのポイントが吹き出して加えられ、発想や構想が広がるよう工夫されている。</li><li>・学習の意味や目的を考えるページが各領域の最初に掲載され、学習への意欲を高める工夫がされている。</li><li>・「作者のことば」が掲載されることで、作品への興味・関心を高め、作者の思いと表現の意図等が伝わるよう工夫されている。</li><li>・SDGs に関するコラムが掲載され、インクルーシブな社会という大きな視点で様々なデザインの可能性が示されており、今日的な教育課題に対応した学習につながる工夫がされている。</li><li>・最後のページには、1年生は2年生に向けて、2・3年生は中学校を卒業に向けてのメッセージが掲載されており、学びを繋げていくことが促されている。</li></ul>
38 光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・題材を通して育成を目指す資質・能力が、観点別に整理され、3種類のマークとともに、学びの目標として言葉で表記されている。</li><li>・全ての題材で、「表現」と「鑑賞」を関連させた紙面構成になっており、「POINT」の吹き出しによって、造形的な視点を養う工夫がされている。</li><li>・「みんなの工夫」として、生徒が試行錯誤しながら作品を制作する過程が掲載され、生徒自身の発想・構想を促す工夫がされている。</li><li>・生徒や作家、国内外の作品など多様な作品が掲載されている他、生活に息づく美術がトピックとして掲載され、発想・構想の手立てとする工夫がされている。</li><li>・和紙で作られたページがあり、日本画の良さを和紙の質感で感じとることが出来るとともに、日本美術への愛好心や興味を高める仕組みになっている。</li><li>・巻頭で「私たちに問いかける美術」として、社会問題と関連する美術作品が掲載されたり、SDGs に関連する題材に SDGs の17の目標が記載されたりすることで、社会が抱える課題を自分たちの身近な課題に置き換え、美術社会との関係を考えられるよう工夫されている。</li><li>・「道徳科とのつながり」として、道徳の内容項目が示されており、特別の教科 道徳との関連を図れるよう工夫されている。</li><li>・「うらわ美術館のロゴマーク」「さいたま国際芸術祭」といった本市に関連のある作品等が掲載されている。</li></ul>

(中学校 美術)		令和6年7月2日 調査専門員長 大河内 範一
項目 発行者	特 色	総 括
	資 料                      表 記・表 現	
9 開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・表紙に凹凸のある印刷がされ、作品の質感を想像できるよう工夫されている。</li><li>・巻末の資料ページには、技法や、色彩学習といった基礎的な知識の他、作家の言葉や世界遺産など様々な方面から特色ある資料が掲載されている。</li><li>・二次元コードにより、多くの資料が掲載され、併せて、どんなコンテンツが活用できるかが明記されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・1年生用と2・3年生用の2分冊で、学習内容をキャラクターがガイドするよう構成されている。</li><li>・表紙や見開きにカラー写真が大きく掲載されるなど、視覚的に生徒の関心・意欲を高める工夫がされており、多様な表現や美術文化を学ぶことができるよう工夫されている。</li><li>・図画工作科と美術科の学習の関連と発展性がわかりやすく提示されており、生徒の意欲が高まるよう工夫されている。</li></ul>
38 光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・付属資料として別冊「資料」があり、3年間の学びに必要な技法や資料などがまとめられており、参照しやすい工夫がされている。特に、表現・鑑賞どちらにも役立つ、色に関する資料が豊富に掲載されている。</li><li>・教科書の右上に、関連する別冊「資料」のページが表記されている。</li><li>・「体感ミュージアム」という鑑賞中心の題材が設けられており、原寸大の図版などを、多角的な視点で鑑賞することができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・1年生用と2・3年生用の2分冊で構成され、系統的に学べるよう工夫されている。また、別冊「資料」が付属されている。</li><li>・二次元コードにより、多くの資料が掲載され、知識・技能の獲得や、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</li><li>・オリエンテーションページが充実しており、図画工作科との接続を意識し、美術への期待感が高まるよう工夫されている。</li></ul>



項目 発行者	特 色
	内 容
116  日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・題材を通して育成を目指す資質・能力が、観点別に整理され、3種類のマークとともに、学びの目標として言葉で表記されている。</li><li>・学習のはじめに意識させたい発問が「鑑賞の入り口」として記載されたり、「造形的な視点」の吹き出しが記載されたりすることで、造形的な視点をもった学習につながるよう工夫がされている。</li><li>・生徒作品には「作者の言葉」が紹介されており、作者の思いと表現の意図等が伝わるよう工夫されている。</li><li>・「表現のヒント」を記載することで、主題を生み出す視点を示したり、発想・構想の手立てを示したりしている。</li><li>・「美術との出会い」や「学びの探究と未来」「学びの実感と深まり」と題した資料が掲載され、学習の意欲が高まる工夫がされている。</li><li>・SDGsに関連する題材にSDGsの17の目標が記載され、社会が抱える課題を自分たちの身近な課題に置き換え、美術社会との関係を考えられる工夫がされている。</li><li>・「道徳との関連」として、道徳の内容項目に対応した文章が示され、特別の教科 道徳との関連が図られるよう工夫されている。</li><li>・本市に関連のある「さいたま国際芸術祭」が掲載されている。</li></ul>

(中学校 美術)		令和6年7月2日 調査専門員長 大河内 範一	
項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
116  日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・作品の写真の解像度や彩度が高く、白地を基調とし余計な装飾を極力抑えることで、作品鑑賞がしやすいよう工夫されている。</li><li>・表紙に作品の一部が大きく掲載されたり、見開きの拡大図版ページが設定されたりするなど、生徒の興味を引く紙面構成の工夫がされている。</li><li>・巻末の資料ページには、技法や色彩学習といった基礎的な知識が学年に応じて掲載されている。</li><li>・二次元コードに「学びのはじめに」と併記されており、導入で活用できるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが使用され、カラーユニバーサルデザインの観点から編集が行われている。</li><li>・所々に「注意しよう」のマークがあり、活動中の材料や用具の取扱い等について、必要な場面で目立つように安全指導が掲載され、注意が促されている。</li><li>・「造形的な視点」の表記により、生徒がより考えて意図的に技法や画材を選ぶことが出来るよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・3年間の発達の特徴に則したねらいをもった題材を提供するために、学年ごとの3分冊で構成されている。</li><li>・題材の冒頭に生活や社会の中の美術作品等が掲載され、表現と関連付けられており、学習の流れが統一されている。</li><li>・「ようこそ美術の学びへ」が見開きで掲載され、3年間の美術の学習を系統立てて、イメージできるよう工夫されている。</li></ul>

## 中学校 保健体育 調査資料作成の観点

項 目		観 点
特 色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○運動と健康との関連について、具体的な考えをもてるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○運動やスポーツの意義や多様性について理解できるようにするために、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習内容を理解しやすくするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○生徒の学習意欲を喚起するために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○生徒が学習しやすいよう、レイアウトや表現等について、どのような工夫されているか。</p> <p>○脚注、注釈等について、どのような工夫がされているか。</p> <p>○記号、用語等について、どのような工夫がされているか。</p>
総 括		(全体的な特徴、その他)

項目 発行者	特 色
	内 容
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き2ページを1単位とすることを基本とし、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」が学習の流れとして配置され、「章末問題」では、知識の習得状況が確認できるよう工夫されている。</li><li>・「見つける」では、実生活や小学校の学習を基に、学習課題を自分事として捉えられるよう工夫されており、「課題の解決」では、話し合い活動や資料活用によって、思考力、判断力、表現力等を働かせ、理解を深めることができるよう発問が工夫されている。</li><li>・「活用する」では、習得した知識・技能を活用してより深く考え、他者に伝えたり、話し合ったりできるよう工夫されている。「広げる」では、学習したことを実生活に置き換えて考えることができるように、「章末資料」では、学習したことをさらに発展的に学ぶことができるよう工夫されている。資料や口絵が掲載され、生徒の興味・関心、疑問を引き出すことで、主体的・対話的で深い学びにつなげることができる工夫がされている。</li><li>・運動時の食事や運動量の目安などに関する資料が掲載されており、実生活の中で運動と健康について考えることができる工夫がされている。</li><li>・巻頭の口絵では、SDGs、テクノロジー、情報という3つの切り口から実生活とのつながりを考えさせる工夫がされている。</li><li>・各章の扉に、「保健体育の職業」コーナーが設けられ、保健編・体育編の内容に合わせた職業が紹介されており、デジタルコンテンツでも学習する工夫がされている。</li><li>・各章の扉に「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」が、本文中に他教科との関連が記載されており、学習内容をつなげ、広げる工夫がされている。</li></ul>
4  大日本図書	<ul style="list-style-type: none"><li>・「学習のねらい」「つかもう」「課題を解決しよう」「活用して深めよう」が学習の流れとして配置されている。見開き構成を活かし、身に付けたい学習内容は左ページの本文にまとめられ、本文に対応した右ページの資料で知識を深め、確実に知識を定着できるよう工夫されている。</li><li>・各単元ではキーワードで学習内容を振り返り、各章末では重要語句や要点の再確認ができるよう工夫されている。</li><li>・「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」では、思考力、判断力、表現力等を働かせて課題解決ができるよう工夫されている。</li><li>・「トピックス」では、学習内容と関連の深い話題や身近な生活について取り上げられ、主体的に学習に取り組む態度をはぐくむ工夫がされている。「活用して深めよう」では、単元で学習した知識をさらに深めるための問いが設けられている。</li><li>・章末の「学びを活かそう」では、対話を通して自分の考えをまとめ、記入する欄が設けられており、深い学びにつなげる工夫がされている。</li><li>・口絵に、世界で活躍する人たちの生活、中学生へのメッセージが掲載されており、運動と健康のつながりを考えることができるよう工夫されている。</li><li>・オリンピック・パラリンピックだけでなく、中学生がスポーツで活躍している場面や、中学校での生活場面の写真が掲載され、スポーツの意義や価値等の理解につなげられるよう工夫されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・保健分野の「技能」に関する内容については、「巻末スキルブック」によって、イラストや写真を用いて解説されており、さらに、デジタルコンテンツでそれぞれの内容を確認できるよう工夫されている。</li><li>・各章末には、「章末資料」「キーワード」「章末問題」「日常生活に生かそう」「SDGsについて考えよう」が設けられ、学習を広げ、深める工夫がされている。</li><li>・各所にある「Dマーク」が、一覧表にまとめられており、動画やシミュレーション、他教科リンクなどのデジタルコンテンツが用意されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・見開き2ページを1単位時間とし、教科書を読み進めながら学習の流れが確認できるよう工夫されている。</li><li>・UDフォントが使用され、読みやすさへの配慮がされている。本文は明朝体、本文中のキーワードはゴシック体で区別されている。</li><li>・10個のマークによって、他教科や他ページとのつながりが示しされ、学習が深められるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」に沿って学習を進めることで、習得した知識を活用して探究するだけでなく、実社会とどのように関わっていくのか考えることができるよう工夫されている。</li><li>・各単元で学習した「キーワード」が、章末で解説されており、学習内容を振り返ることができるよう工夫されている。</li><li>・各章末の発展的資料「巻末スキルブック」等により、個別最適な学びにつながる工夫がされている。</li><li>・デジタルコンテンツが約150点用意されており、インターネットを介しての家庭学習等に、生徒が興味・関心をもって取り組むことができるように工夫されている。</li></ul>
4  大日本図書	<ul style="list-style-type: none"><li>・「傷害の防止」の心肺蘇生法では見開き3ページにわたって手順や方法が掲載されている。</li><li>・各章の「学習のまとめ」では、重要な言葉がまとめられており、用語の説明や掲載ページが記されている。</li><li>・「WEBマーク」が示されている箇所には、動画や資料、まとめの問題などのデジタルコンテンツが用意されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・左ページに本文、右ページに資料を掲載する構成で統一されている。</li><li>・UDフォントの使用や、読みやすい位置での改行等、全ての生徒が読みやすくなるよう配慮されている。</li><li>・10個のマークによって、他教科や他ページとのつながりが示しされ、学習が深められるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本文と資料が分かれた構成で、要点がまとめられており、確実な知識の定着ができるように工夫されている。</li><li>・「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」により、生徒が自ら学習課題に気付き、主体的に学習できるよう工夫されている。</li><li>・他教科との関連や、家庭や地域で取り組みたい活動等にマークが使用され、学習内容を深める工夫がされている。</li><li>・オリンピック・パラリンピックの話題やアスリートの取組等を紹介することで、運動と健康との関連について具体的な考えをもてるよう工夫されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色
	内 容
5 0  大修館書店	<ul style="list-style-type: none"><li>・「つかむ (章のとびら・課題をつかむ・きょうの学習)」「身につける・考える (本文・資料)」「まとめる・振り返る (学習のまとめ)」が学習の流れとして配置され、確実に知識を習得できるよう工夫されている。</li><li>・「きょうの学習」に学習課題が示され、その単元で学ぶべき内容が明確にされている。単元の最後には、学習内容の振り返りができる「保体クイズにトライ!」がデジタルコンテンツとして掲載されている。</li><li>・章末の「章のまとめ」では、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点に分けて問題が掲載され、生徒が観点を意識して学習の振り返りができるよう工夫されている。</li><li>・「課題をつかむ」では、実生活の中からの気付きや思考を促す問いが示され、思考力・判断力・表現力等を身に付けることができるよう工夫されている。また、「学習のまとめ」では、学習内容の確認ができるよう工夫されている。さらに、「コラム」「事例」「体育の窓」「保健の窓」に生活に関連する情報資料が掲載され、学習内容が実生活に生きて働くよう工夫されている。</li><li>・「実習」では、実生活ですぐに実践できる内容が、「特集資料」では、生徒の悩みや自己の生活をよりよくするための解決法や解消法が具体的に示されるなど、生徒の学習意欲が高まる工夫がされている。</li><li>・口絵や「章のとびら」では、運動やスポーツを学ぶことが健康で充実した人生を送るために大切であることや、運動・スポーツへの多様な関わり方・楽しみ方が記載され、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。</li><li>・共生社会や多様性、新型コロナウイルス感染症やSDGsに関する特集など、社会の急速な変化に対応した資料が多く掲載されている。</li></ul>
2 2 4  G a k e n	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ウォームアップ (課題の発見)」「学習の課題」「本文と資料」「エクササイズ (課題の解決)」「学びを生かす (学びの活用)」が学習の流れとして配置され、習得した知識を活用する学習活動ができるよう工夫されている。また、「とりくメーカー」では、単元の取り組み度合いを自己評価し、記録を蓄積することができるよう工夫されている。</li><li>・身に付けるべき技能については、「技能」のマークがあり、写真などが掲載され、インターネットやデジタル教材でも学習することができるように工夫されている。</li><li>・章末の「探究しようよ!」では、章で学んだことを確認し、さらに探究することで、知識を深めて「章のまとめ」につなげられるように工夫されている。また、「章のまとめ」では、記述欄が設けられており、知識の確認だけでなく、学習したことを実生活に生かすことができるよう工夫されている。</li><li>・各章の扉に、「小学校で学習したこと」や「高校で学習すること」がまとめられており、学習の見通しをもち、系統性を意識することができるよう工夫されている。</li><li>・「エクササイズ (課題の解決)」「学びを生かす (学びの活用)」では、学んだ知識を用いて、比べる、確かめる、話し合うことで、思考力・判断力・表現力等を養うことができるよう工夫されている。</li><li>・各章のはじめに「保健体育と情報」のコーナーが設けられ、身の回りの様々な事象や情報が健康に関わっていることを認識するとともに、それらを健康の保持増進に生かす必要性や大切さに気付くことができるよう工夫されている。</li><li>・口絵では、スポーツ・健康・安全の各分野で活躍する人物が取り上げられ、スポーツと多様な向き合い方ができるよう工夫されている。</li></ul>

(中学校 保健体育)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
5 0  大修館書店	<ul style="list-style-type: none"><li>・「けがの防止と応急手当」では、ASUKA モデルが紹介され、心肺蘇生法について、さいたま市の中学生の実習の様子が掲載されている。「健康な生活と病気の予防②」では、新型コロナウイルス感染症について記載されている。</li><li>・章末の「特集資料」では関連するページが示されている。</li><li>・「動画コンテンツ」「Web 保体情報館」「Web ワークシート」「保体クイズにトライ!」と記された二次元コードから本文に関連した資料をインターネットで調べたり、学習したりできる工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各項目見開き2ページで1単位時間となっており、資料を枠で囲み、本文と資料とが明確に分けられており、さらに、見やすさ、読みやすさを高めるために、UD フォントが使用されている。</li><li>・8個のマークによって、他教科や他ページとのつながりが示しされ、学習が深められるよう工夫されている。</li><li>・各見出しの最後にコラムや資料など色付きのマークで、資料との関連が示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・章末の「章のまとめ」では、3観点に関する問題が掲載されており、観点を意識しながら学習を振り返る工夫がされている。</li><li>・さいたま市の写真等が多く掲載されており、生徒が興味・関心をもてるよう工夫されている。</li><li>・生活に関連した情報資料として、「特集資料」「コラム」「事例」等が掲載され、学習内容をさらに深める工夫がされている。</li><li>・口絵や「章のとびら」で、健康で充実した人生を送るために大切なことや共生社会や多様性、SDGs等を取り上げ、スポーツの意義や価値等の理解につなげられるよう工夫されている。</li></ul>
2 2 4  G a k e n	<ul style="list-style-type: none"><li>・「傷害の防止」の心肺蘇生法では、「コラム」でASUKAモデルについて触れられている。</li><li>・各章末に「章のまとめ」、学年末に学年のまとめがあり、自己評価や振り返りの欄が設けられている。</li><li>・デジタルコンテンツの「教科書サイト」には、実習の動画や学習内容に関連する省庁のWeb ページなどが紹介されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各章の扉が、見開きページとされ、多くの関連写真や著名人の功績等が掲載されている。</li><li>・UD フォントが使用され、全ての生徒が読みやすいよう配慮されている。</li><li>・10個のマークによって、他教科や他ページとのつながりが示しされ、学習が深められるよう工夫されている。</li><li>・本文の文章量とイラストや資料等が、中学生にとって受け入れやすいバランスとなるよう工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ウォームアップ (課題の発見)」「学習の課題」「本文と資料」「エクササイズ (課題の解決)」「学びを生かす (学びの活用)」の流れに沿って、学習内容が見やすくなるように工夫されている。また、実習や体験的な学習活動が多く取り入れられており、実生活の中で応用し、主体的に行動できるよう工夫されている。</li><li>・各ページに関連資料等が掲載され、幅広い知識を習得し、発展させられるよう工夫されている。</li><li>・身近な問題や資料が取り上げられ、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。</li><li>・口絵では、各分野で活躍する人物や、日本各地の施設や史跡などが取り上げられ、スポーツや健康と多様な向き合い方ができるよう工夫されている。</li></ul>

# 中学校 技術・家庭（技術分野） 調査資料 作成の観点

項 目		観 点
特色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○主体的な判断ができる力や他者と協働しながら最適な解を見付ける力を育むために、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習に関心をもたせ、学習効果を高めさせるために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○資料と本文の関係及び資料の配置について、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○タイトル・見出し・説明文などの使い方について、どのような工夫がされているか。</p> <p>○用語・記号・図記号・単位・数値等の使い方について、どのような工夫がされているか。</p>
総 括		（全体的な特徴、その他）

教科用図書調査専門員会報告書

(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目	特 色
	内 容
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・技術の原理・法則に関する知識や基礎的な技能の習得のために、本文の内容を裏付ける図などが掲載され、科学的な根拠に基づく知識が習得できるように工夫されている。また、作業手順の一連の流れが写真とともに詳細に掲載されており、写真や図、説明を用いて一目見てわかるように工夫されている。</li><li>・問題解決に向けて、「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作・育成」「評価、改善・修正」の流れを統一的に示す工夫がされている。また、複数の問題の発見例が掲載されていることで、柔軟な発想で「問題の発見、課題の設定」を行い、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li><li>・「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」などの活動を数多く取り上げ、主体的に調べたり、他者と協働して比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びの実現のための工夫がされている。</li><li>・グローバル化、情報化など予測困難な未来に対応し、新たな価値を創造できるよう、SDGs と技術との関わりを紹介する特集ページが設けられており、持続可能な社会の構築のために技術が果たしている役割について考えられるように工夫されている。</li></ul>
6  教育図書	<ul style="list-style-type: none"><li>・作業手順を連続した見開きページで、工程ごとに写真を付けて記載しており、作業の全体像を掴めるように工夫されている。また、別冊「スキルアシスト」では各編の製作などに必要な基礎技能が掲載されており、必要なタイミングで技能を確認できるように工夫されている。</li><li>・ガイダンスでは、問題の見つけ方、見方・考え方の働きせ方、課題設定の仕方がイラストで説明されており、問題解決の中でも特に課題設定について詳しく学ぶことができるよう工夫されている。また、身近な問題解決の事例を取り上げることで、日常生活と関連付けて問題解決の流れを学ぶことができるように工夫されている。</li><li>・各編では、技術の役割や影響を理解し、多面的に評価することできるように、「技術のプラス面とマイナス面」について掲載されており、技術を生かして持続可能な社会を創造できるように工夫されている。</li><li>・「技ビト」では、技術を生かして、社会の問題解決に取り組む人々の技術や想いが紹介されており、様々な職業を知ること、夢と志を持ち、生きがいを見付け、未来の創り手として輝き続けることができるように工夫されている。</li></ul>
9  開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・科学的な根拠をもとにした技術の理解・習得のために、加工や育成、変換などの仕組みについて図などを用いたり、詳しく説明したりするなど、表記が工夫されている。また、「実験」や「やってみよう（調べ学習）」を、各題材で適宜取り上げることで、技術の理解を深めるための工夫がされている。</li><li>・「問題の発見と課題の設定」、「構想と設計」「製作」「成果の評価と改善」など、問題解決の手順や考え方について明確に示されており、技術のしくみを目的に応じて最適化できるよう考えながら問題解決ができる工夫がされている。</li><li>・技術の見方・考え方をはたらかせられる「問題解決の評価・改善」のワークシートなどが学習の節目に用意されており、問題解決活動を振り返ることで、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築について考えられる工夫がされている。</li><li>・各学習活動の適切な箇所に、キャラクターやマークが示され、生徒が興味・関心をもって主体的に学習することができるよう工夫されている。また、自ら立てた問いの解決を目指し他者と協働しながら最適な解を見つけるなど、主体的・対話的で深い学びにつなげられる工夫がされている。</li></ul>

令和6年7月2日

調査専門員長 小林 正樹

(中学校 技術・家庭 技術分野)

項目	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・技術分野の学習の出口では、新しい技術の融合によって目指す豊かな未来のイメージを持つことができるよう Society5.0 と関連する技術を紹介する特集ページが設けられている。</li><li>・技術者のメッセージを「技術の匠」で紹介し、技術者の工夫や想いを知ることができるように工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォント、カラーユニバーサルデザインが採用されている。</li><li>・写真と重なる罫線や矢印などには白い縁取りを施し、見やすくする工夫がされている。</li><li>・基本ページでは、「目標」「始めの活動」「学習課題」「まとめの活動」などが全て同じ位置に配置されており、学習の流れに沿ったレイアウトの工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・小学校や他教科の学習に関連のある内容に「リンクマーク」を付しており、小中連携や教科間連携などのカリキュラムマネジメントの手がかりとなるように工夫されている。</li><li>・基本構成は、授業が組み立てやすい「見開き構成」になっており、育成すべき資質・能力を各節の冒頭に「目標」と示すことで、指導と評価の一体化が図れるように工夫されている。</li><li>・ガイダンスから統合的な問題解決まで、3年間の見通しを持って学習に取り組めるように工夫されている。</li></ul>
6  教育図書	<ul style="list-style-type: none"><li>・別冊「スキルアシスト」は、製作や制作・育成に必要な基礎技能を教科書とは別に集約したことで、実習の際に手元に置いて確認することができるように工夫されている。</li><li>・設計などをする上で必要となる知識・技能が丁寧に説明されており、巻末のワークシートを活用することで主体的に設計・計画、実習に取り組めるように工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォント、カラーユニバーサルデザインが採用されている。</li><li>・学習内容の重要語句は、視認性を上げるため、青太文字になっており、カラーバリアフリーの観点から、色覚に対する配色の工夫がされている。</li><li>・「安全」「環境」など重要な指導内容に対応したマークやSDGsの目標に対応したマークを掲載し、幅広く理解することができるように工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「夢をかなえる技術」は、技術を生かして夢を形にしたり、問題解決をしたりできるように、3年間の技術分野の学習にまたがる統合的な内容になっている。</li><li>・評価の3観点に対応した「やってみよう」や「まとめの問題」が各編末に掲載されており、学習を振り返ることができるように工夫されている。</li><li>・巻末に「先輩からのメッセージ」を掲載することにより、技術で学んだことをいかし学びを深めるとともに、高校との接続を意識し、進路選択の一助になるように工夫されている。</li></ul>
9  開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・技術に関わる人のインタビューが掲載され、人物を通して技術と将来がイメージでき、職業観や勤労観、勤労を重んずる態度を養えるように工夫されている。</li><li>・ページ右上では各内容に関連する工具や部品などの名前が紹介され、ページ下部では「豆知識」が設けられており、生徒が興味・関心をもって知識を習得できるように工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォント、カラーユニバーサルデザインが採用されている。</li><li>・学習を支援するマークが豊富で、安全や環境など技術の見方・考え方の視点をもって考えられるように工夫されている。</li><li>・単語が途中で改行されないようにすることで単語を認識しやすくする工夫がされている。</li><li>・防災に関する技術について、マークを使って取り上げられ、具体的に防災意識を高められるように工夫されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各内容の出口では、これからの技術について考えられるような話題が取り上げられており、将来的にも技術に関心や課題意識をもてるように工夫されている。</li><li>・様々な技術を組み合わせた、統合的な実習を取り上げており、社会の問題に技術で対応するための考え方を深められるように工夫されている。</li><li>・巻末には社会が抱える問題について掲載されており、3年間の学習を生かして、社会にある課題について考えさせるように工夫されている。</li></ul>

中学校 技術・家庭（家庭分野） 調査資料作成の観点

項	目	観 点
特色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○主体的な判断ができる力や他者と協働しながら最適な解を見付ける力を育むために、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習に関心をもたせ、学習効果を高めさせるために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料と本文の関係及び資料のレイアウトについて、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○家庭分野における学習方法の特質である衣食住などに関する実践的・体験的な活動を安全かつ効果的に進めるために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○タイトル・見出し・説明文などの使い方について、どのような工夫がされているか。</p> <p>○用語・記号・図記号・単位・数値等の使い方について、どのような工夫がされているか。</p>
総 括		(全体的な特徴、その他)



項目 発行者	特 色
	内 容
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>各章末の「学習のまとめ」には、3つの観点別に学習を振り返る問題等があり、学習した用語の確認と確認問題で知識・技能の定着につなげる工夫がされている。</li><li>学習前に、既習事項や自身の生活で学んだことを振り返ることで、これからの学習で身に付けたい知識や技能を意識できるように工夫されている。</li><li>実習例が豊富に掲載され、学習への意欲を喚起するとともに、生徒が自ら実践を評価・改善し、課題を解決する力を養う工夫がされている。</li><li>学習のまとめとなる「生活に生かそう」では、実践へ結び付ける流れが示されており、実践的な態度を養う工夫ができる構成となっている。</li><li>各題材の1ページ目には、その学習内容と家族・家庭の基本的な機能や家庭分野の見方・考え方についてまとめてあり、主体的に課題を解決しようとする意欲を高めることができる構成となっている。</li><li>全ページが「問い」から始まり、実体験から学習課題を設定し、主体的に他者と協働して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫できる構成となっている。</li></ul>
6  教育図書	<ul style="list-style-type: none"><li>各生活（家庭生活、食生活、衣生活、住生活）のはじめのページに「小学校 家庭科」と「自立度チェック」の記載があり、小学校での学びとの関連や自立を目指すための具体的な知識・技能が簡単に分かるよう工夫されている。</li><li>各章ごとに「導入」→「やってみよう」→「学びをいかそう」→「章末のまとめ」→という構成になっており、「やってみよう」で身につけた知識・技能を生かして、「学びをいかそう」で自らの課題を設定し、課題解決後には、「章末のまとめ」において3観点による振り返りができるよう工夫されている。</li><li>本文掲載ページは、「見つめる」→「見つめてみよう」→「学ぶ」→「ふり返る」の流れに沿った紙面構成で、学習指導要領で重視する「生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決方法を、検討し、計画、実践、評価・改善する」という学習過程に沿った構成になっている。</li><li>各章末の「学びを生かそう」では、既習項目を併記して、生徒個人の問題発見を助ける構成になっている。</li><li>「考えてみよう」では、生徒が主体的に考えたり、話し合ったりするコラムがあり、対話的な学びを実現するための工夫がされている。</li></ul>
9  開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"><li>学習のまとめページで出題されている正誤問題は、○×だけでなく、誤りを正しく直すようにされており、より深く基本的な知識が身に付けられるように工夫されている。</li><li>各生活（家庭生活、食生活、衣生活、住生活）のはじめのページに「学習する内容」と「小学校での学び」の記載があり、これから学ぶ内容と小学校での学びの関連性が分かるよう工夫されている。</li><li>各生活の内容の終わりには「学習のまとめ」があり、評価の3観点に加え「生活の課題と実践」につながる内容になっており、生徒自身が3観点の到達度が分かるような工夫がされている。</li><li>「中学生のとりくみ」というコラムの中で、生徒の興味・関心を引き出し、主体的に取り組む工夫がされている。</li><li>生活の課題と実践が最終ページにまとめられており、生徒個人が生活の中から見いだした課題を実践、評価、改善し、考察したことを論理的に表現するための工夫がされている。</li><li>どの題材も今までの経験を踏まえて考える活動から始まるように構成されており、実体験から学習課題を設定し、主体的に他者と協働してよりよい生活の実現に向けて生活を工夫しようとする態度を養うことができるような構成となっている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2  東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>見開きページで二次元コードの活用例が紹介され、学びを支援する工夫がされている。</li><li>各節冒頭の学習課題とは別に、本文見出しと本文の間に、吹き出しで問題提起に当たる発問があり、学習への関心を高めるよう工夫されている。</li><li>包丁の使い方や手縫いの内容では左利きの例も取り上げられている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>全ての書体にUDフォント、カラーユニバーサルデザインが採用されている。</li><li>「いつも確かめよう」という見出しで、各題材の基礎・基本がまとめられており、実習を安全かつ効果的に進める工夫がされている。</li><li>イラストには様々な家族形態や世代、国籍、異なる文化を持つ人などが掲載されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生活に始まり、生活に返す学習の流れが明確に示されている。</li><li>A家族・家庭生活の内容は1編（ガイドダンスを含む）と6編に分けて、年間指導計画や生徒の発達段階、12年間の系統性を踏まえた構成になっている。</li><li>「プロに聞く」では、学習したことを生かして社会で活躍する人々が紹介され、社会とのつながりを感じられるよう工夫されている。</li><li>多様な場面設定や幅広い難易度の実習例があり、生徒の実践意欲を高める工夫がされている。</li></ul>
6  教育図書	<ul style="list-style-type: none"><li>ページの右下に二次元コードと共に動画やワークシートの案内が表記され、生徒の学びを支援する工夫がされている。</li><li>幼児の心や体の発達についての写真資料が豊富に掲載されている。</li><li>さいたま市の赤ちゃん・幼児触れ合い体験授業の写真が掲載されている。</li><li>巻末付録に生徒の活動を助ける学習シールが掲載されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>全ての書体にUDフォント、カラーユニバーサルデザインが採用されている。</li><li>重要語句はゴシック体青太字で統一され、見やすい工夫がされている。</li><li>調理時間や必要な調理技術、献立区分（主食、主菜など）が分かりやすいマークで表記されている。</li><li>紙面構成が「導入」→「やってみよう」→「学びを生かそう」→「章末のまとめ」で統一されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>「つなぐ、つながる」をテーマにし、学習内容の時間軸・空間軸の広がりを自覚できるよう工夫されている。</li><li>調理の学習では、失敗例を掲載し、理由を考えさせることで、適切な調理方法を理解させる工夫がされている。</li><li>実習例には、様々なアレンジ例が掲載され、生徒一人ひとりの理解度に応じて解決する力を身に付けられるよう工夫されている。</li><li>簡潔な文章やイラストを交え、多様な生徒が内容を理解できるよう工夫されている。</li></ul>
9  開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"><li>過去5年以内のデータに基づく新しい資料が多く掲載されている。</li><li>実物写真や実物大写真が掲載され、理解を深める工夫がされている。</li><li>イラストが多く掲載され、本文の内容を補う工夫がされている。</li><li>ページ下に「豆知識」が記載されており、生徒の興味・関心を引き出すとともに、知識を深める工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>UDフォント、カラーユニバーサルデザインが採用されている。</li><li>重要語句は、ゴシック体黒太字で統一されて見やすい工夫がされている。</li><li>調理実習や布を用いた製作の流れが横に配列され、学習や手順の流れがつかみやすいよう工夫されている。</li><li>各ページの右上に食品、生活用具、マークなどの写真、他教科との関連が示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>「自立と共生は一体」であることをガイドダンスのページに掲載し、生徒が学んだことを生活に生かせるような工夫がされている。</li><li>生活の課題と実践では、生活を見つめ問題を見出すことを大切にした構成となっている。</li><li>日本文化に係る事例や写真を多く掲載することで、現代の生活にも実践できるよう工夫されている。</li><li>全ての題材において、「持続可能な…」という項目を設け、SDGsの視点から学習を振り返ることができるよう工夫されている。</li></ul>



## 中学校 英語 調査資料作成の観点

項 目		観 点
特 色	内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解することができるように、どのような工夫がされているか。</p> <p>○聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身に付くように、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりする力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○外国語の背景にある文化を対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫＞</p> <p>○単元などの時間のまとまりごとに、五つの領域別の目標と指導内容との関係が明確になるよう、どのような工夫をしているか。</p> <p>○文、文構造及び文法事項について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げており、用語や用法の指導に偏ることのないよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○必要となる語彙を言語活動と効果的に関連付けて取り上げられており、実際のコミュニケーションにおいて活用されるよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○図書の内容と一体のものとして、視聴覚教材などが相互に適切に関連が図られるよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○コミュニケーションを通じて人間関係を築き、グローバル社会で活躍できる人間性を育成するために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○他者と協働しながら、新たな価値を創造していく力を育成するために、どのような工夫がされているか。</p>
	資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料について、どのような工夫がされているか。</p> <p>○挿絵、写真等の資料について、どのような工夫がされているか。</p>
	表記・表現	<p>○字体、記号・符号、用語等の使い方について、どのような工夫がされているか。</p> <p>○文字の大きさ・行間等について、どのような工夫がされているか。</p>
	総 括	(全体的な特徴、その他)

項目 発行者	特 色
	内 容
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・主な登場人物の出身国は、日本、南アフリカ、イギリス、カナダとされ、題材では出身国に加え、ニュージーランド、シンガポール、エジプト、インド、アメリカ等が取り扱われている。</li><li>・文化や慣習については、日本の習慣やマナー、ニュージーランドの学校生活、イギリス出身の落語家、イギリスの文化や歴史、日本や海外の年末年始の過ごし方、シンガポールの文化や歴史、各国の食文化や日本のポップカルチャー等が取り扱われている。</li><li>・1年生では小学校との接続が「Unit0」、「Sounds and Letters」として設定され、初めて出会った友達とのあいさつや既習単語、フォニックス、英語の語順等が取り扱われている。</li><li>・題材としては、1年生では、海外とのオンラインツアー、国際支援・水問題、2年生では、職業体験、ホームステイ体験、ユニバーサルデザイン、3年生では、絶滅危惧種、防災、ガンディーの功績等が取り扱われている。</li><li>・文法事項は、1年生では、現在形、過去形、進行形、未来表現、There is/are～の表現が、2年生では、接続詞、不定詞、動名詞、助動詞、比較の表現、受け身が、3年生では、現在完了（進行）形、分詞、関係代名詞、仮定法が取り扱われている。</li></ul>
9 開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・主な登場人物の出身国は、日本、アメリカ、オーストラリア、インド、ブラジルとされ、題材では出身国に加え、ケニア、フィンランド、カナダ、トルコ等が取り扱われている。</li><li>・文化や慣習については、日本の食文化、オーストラリアの自然や文化、日本や海外の年末年始の過ごし方、フィンランドの文化、世界の屋台の違い、スポーツの歴史等が取り扱われている。</li><li>・1年生では小学校との接続が「Get Ready」として設定され、リスニング、コミュニケーション活動、アルファベットや英語の書き方、英語の語順等が取り扱われている。</li><li>・題材としては、1年生では、学校生活、チャリティー活動を目的とした他国の学校行事やイベント、2年生では、カナダ国立公園のルールやそこに住む生物、自然を利用した技術、広島の世界から世界平和、3年生では、睡眠やパラスポーツ、SDGs、チョコレートの歴史やロボット等の最先端技術等が取り扱われている。</li><li>・文法事項は、1年生では、現在形、過去形、進行形、There is/are～の表現が、2年生では、未来表現、接続詞、不定詞、動名詞、助動詞や受け身、比較の表現が、3年生では、現在完了（進行）形、分詞、関係代名詞、仮定法が取り扱われている。</li></ul>
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"><li>・主な登場人物の出身国は、日本、オーストラリア、アメリカ、中国、インド、イギリスとされ、題材では出身国に加え、シンガポール、ケニア、ベトナム、エチオピア、スーダン等が取り扱われている。</li><li>・文化や慣習については、日本とアメリカの学校生活、インド伝統楽器、食文化、中国の工芸茶、英語の落語、海外の映画や日本のマンガ等が取り扱われている。</li><li>・1年生では小学校との接続が「Starter」として設定され、英語でのやりとりによるコミュニケーション活動、英語の音やアルファベット、英語での単語や文の書き方、数多くの小学校の既習語が取り扱われている。</li><li>・題材としては、1年生では、車イスバスケットボール、日本発見の旅、災害への備え、2年生では、安全できれいな水、姉妹学校、オーストラリア旅行、落語、3年生では、平和、インドの映画や世界のアニメ、平等やデザインについて等が取り扱われている。</li><li>・文法事項は、1年生では、現在形、過去形、進行形、未来表現が、2年生では、接続詞、不定詞、動名詞、There is/are～の表現、比較の表現、助動詞、現在完了が、3年生では、現在完了進行形、受け身、関係代名詞、仮定法が取り扱われている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻末資料には、語順カードや Can-Do リスト、「Word List」、「Key Expressions」等が掲載されている。</li><li>・1年生の学年末以降、単元の途中に、様々な物語文や説明文を含んだ読み物資料「Let’ s Read」が設定されていて、読解力を鍛えるための工夫がされている。</li><li>・二次元コードが豊富に掲載されており、英語の音声をはじめ、様々な学習コンテンツで学びを深める工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書サイズはA4判で、1年生では主に手書きに近いフォントが使用され、2年生からは主に活字体が使用されている。</li><li>・1年生では、アクセントは各単語に青色で付記され、発音記号は巻末に掲載されている。一方、2・3年生では、アクセント、発音記号共に青色で併記されている。</li><li>・行間は書き込みやすいよう間隔があげられていて、音読回数をチェックできる欄がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「Unit」の内容や異文化理解を深める「ダイバーシティメモ」や写真・資料が掲載される等、国際理解につながる工夫がされている。</li><li>・各単元の扉にはゴールが示され、「Part」（重要表現の導入と本文の概要把握）→「Read and Think」（本文・内容理解）→「Round Reading」（読解のポイントを絞って英文を読む活動）→「Unit Activity」（単元末のまとめの言語活動）と学習目標が達成できるよう教材が設定されている。</li><li>・学習者用デジタル教科書では、すべてのデジタルコンテンツを収録し、書込み・保存が可能で、更に Google 翻訳が利用しやすく工夫されている。</li></ul>
9 開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻末資料には、辞書の使い方、Can-Do リスト、「Word Web」などの表現集やアクションカード等が掲載されている。</li><li>・2年生以降、単元の途中に様々な物語文や説明文を含んだ読み物資料「Reading」が設定されていて、読解力を鍛えるための工夫がされている。</li><li>・二次元コードが豊富に掲載されており、英語の音声をはじめ、様々な学習コンテンツで学びを深める工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書サイズはA4判で、写真やイラストも多く掲載され、1年生では主に手書きに近いフォントが使用され、2年生からは主に一般的な活字体が使用されている。</li><li>・各学年共通で、アクセントは各単語に赤色で付記され、発音記号は巻末に掲載されている。</li><li>・文字の大きさや行間にも配慮され、本文には、音読回数をチェックできる欄がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「Step for Our Project」では本市の「G・S カリキュラム」で学ぶようなスキルが示されている。</li><li>・各単元は「Scenes」（重要表現の導入）→リスニングや言語活動→「Tuning in」（題材や異文化理解を深める資料やクイズ）→本文の内容→「Review &amp; Retell」（振り返りと再話）→「Action」（「目的・場面・状況」を設定した言語活動）とステップアップしながら4技能5領域の力を育むための設定がされている。</li><li>・学習者用デジタル教科書では、二次元コードのコンテンツを利用できたり、AI による自動採点スピーキング評価機能を利用できる。</li></ul>
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻末資料には、「基本文のまとめ」、カテゴリー別の「いろいろな単語」、Can-Do リスト、英語の歌等が掲載されている。</li><li>・1年生の2学期以降、単元の途中に様々な読み物資料「Reading Lesson」「Further Reading」が設定されていて、読解力を鍛えるための工夫がされている。</li><li>・二次元コードが豊富に掲載されており、英語の音声をはじめ、様々な学習コンテンツで学びを深める工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書サイズはA4判で写真やイラストも多く掲載され、1年生では、全編を通して手書きに近いフォントが、2年生からは、活字体が使用されている。</li><li>・1年生では、アクセントは各単語に黒色で付記され、発音記号は巻末に青字で掲載されている。2・3年生では、アクセント、発音記号が併記されている。</li><li>・文字や行間にも配慮されており、音読回数をチェックできる欄がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各単元は「Scene」「Small Talk」で重要表現の導入）→「Exercise」（リスニングや言語活動）→本文の内容→「Listen &amp; Read」（内容の整理）→「Small Talk Plus」（発展的な言語活動）とステップアップし、まとめの「Goal Activity」に向けて段階的に学び、経験し、考え、表現する構成になっている。</li><li>・単元間の「Take Action!」では、リアルなコミュニケーション活動を行うことができるよう工夫されている。</li><li>・学習者用デジタル教科書では、二次元コードのコンテンツを利用できたり、家庭学習モードでは、問題レベルの選択や学習履歴を保存できる。</li></ul>

項目 発行者	特 色
	内 容
1 7  教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・主な登場人物の出身国は、日本、アメリカ、シンガポール、オーストラリアとされ、題材では出身国に加え、カナダ、デンマーク、ボリビア、イタリア等が取り扱われている。</li><li>・文化や慣習については、日本とオーストラリアの学校生活の違い、日本と海外の標識、海外の「ハロウィーンの祝い方」や日本のお盆、落語、和食、日本とアメリカの手話の違い等が取り扱われている。</li><li>・1年生では、小学校との接続が「Springboard」として設定され、アルファベットや月日、季節や曜日、教科の表し方、ヘボン式ローマ字、英語の書き方のルールや辞書の使い方が取り扱われている。</li><li>・題材としては、1年生では、学校生活、部活動、中華街での飲食や買い物、SDGs等、2年生では、介助犬や未来のエネルギー資源、ユニバーサルデザインや職業体験、手話等、3年生ではホームステイや宇宙旅行、人々の成功を支える人・職業や勤労観等が取り扱われている。</li><li>・文法事項は、1年生では、現在形、過去形、進行形、未来表現、There is/are～の表現が、2年生では、接続詞、不定詞、動名詞、受け身や比較の表現が、3年生では、現在完了（進行）形、分詞、関係代名詞、仮定法が取り扱われている。</li></ul>
3 8  光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・主な登場人物の出身国は、日本、アメリカ、韓国、南アフリカとされ、題材では出身国に加え、イギリス、シンガポール、フィンランド、ブラジル、フランス、ザンビア、ニュージーランド等が取り扱われている。</li><li>・文化や慣習については、日本とアメリカの学校生活の違い、日本の新年の祝い方、シンガポールの食べ物や服装、世界の絵文字、日本の修学旅行等が取り扱われている。</li><li>・1年生では、「Let’ s Be Friends!」で小学校の既習の英語表現や自己紹介の仕方が示され、友人と楽しくコミュニケーション活動ができるよう工夫がされている。</li><li>・題材としては、部活動、修学旅行や合唱コンクール等、中学生になって経験するものや、防災、職業観、持続可能な社会、平和に関する学習、盲導犬や「AI」等が扱われている。</li><li>・文法事項は、1年生では、現在形、過去形、進行形の表現が、2年生では、動名詞、不定詞、未来の表現、接続詞、There is/are～の表現、助動詞、受け身や比較が、3年生では、現在完了（進行）形、分詞、関係代名詞、仮定法が取り扱われている。</li></ul>
6 1  新 興 出 版 社 啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"><li>・主な登場人物の出身国は、日本、ニュージーランド、シンガポール、アメリカとされ、題材の中で扱う国としては出身国に加え、カナダ、イギリス、台湾、ペルー、オーストラリア、エクアドル、インド、モザンビーク、オーストリア等が取り扱われている。</li><li>・文化や慣習については、日本の学校生活や行事、カナダやイギリスの文化や歴史、世界の祭や食文化・食の多様性等が取り扱われている。</li><li>・1年生では小学校との接続が「Let’ s Start」として設定され、小学校で学習したやりとりの活動、リスニング、アルファベットや英単語の書き方等が取り扱われている。</li><li>・題材としては、1年生では、学校生活、部活動、SDGs等、2年生では、世界の祭、防災や文化の多様性、3年生ではトリックアート、世界平和、動物との共存、ユニバーサルデザイン、エネルギー問題が取り扱われている。</li><li>・文法事項は、1年生では、現在形、過去形、進行形、動名詞や接続詞 when の表現が、2年生では、接続詞、不定詞、未来表現、助動詞、There is/are～の表現、受け身や比較の表現が、3年生では、現在完了（進行）形、分詞、関係代名詞、仮定法が取り扱われている。</li></ul>

令和6年7月2日

(中学校 英語)

調査専門員長 小林 正美

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
1 7 教育出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻末資料には、綴りと発音、重要構文の復習リスト、分野別用語集、Can-Do リスト等が掲載されている。</li><li>・1年生の2学期以降、単元の途中で様々な物語文や説明文を含んだ読み物資料「Reading」「Further Reading」が設定されていて、読解力を鍛えるための工夫がされている。</li><li>・二次元コードが豊富に掲載されており、英語の音声をはじめ、様々な学習コンテンツで学びを深める工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書サイズはAB判で、1年生の LESSON 3 までは手書きに近いフォントが、それ以降2年生の LESSON 1 まではブロック体が、LESSON 2 以降3年生まで主に活字体が使用されている。</li><li>・1年生では、アクセントは各単語に青色で付記され、発音記号は巻末に黒字で掲載されている。2・3年生では、アクセント、発音記号が黒色で併記されている。</li><li>・教科書に音読回数をチェックできる欄がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各単元の扉にはゴールが示され、「Scene」（重要表現の導入や本文の内容）→「Tool Kit」（重要表現の練習）→「Let’ s Listen」（リスニング）→「Think &amp; Try!」（言語活動）、「Read &amp; Try」（読解表現）へと段階的に学習を深め、まとめの「Task」や「Tips」（即興表現）で自由に自己表現できるよう教材が設定されている。</li><li>・単元間の「Useful Expressions」では日常生活で利用できる表現を増やすことができるよう工夫されている。</li><li>・学習者用デジタル教科書では、授業や家庭で使いたい動画の音声やワークシートをダウンロードできたり、学んだ文法事項を用いた英会話の実写動画を見て練習することができる。</li></ul>
3 8 光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻末資料には、綴りと発音、辞書の使い方、読み物資料、「Let’ s Talk」即興的なやり取り、Can-Do リストが掲載されている。</li><li>・2年生以降、単元の途中で様々な読み物資料「Let’ s Read」「Let’ s Read More」が設定されていて、読解力を鍛えるための工夫がされている。</li><li>・二次元コードが豊富に掲載されており、英語の音声をはじめ、様々な学習コンテンツで学びを深める工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書サイズはAB判で、1年生の Unit 3 までは手書きに近い独自のフォントが使用され、それ以降はブロック体が、2年生以降は主に活字体が使用されている。</li><li>・1年生では、アクセントは各単語に青色で付記され、発音記号は巻末に青字で掲載されている。2・3年生では、アクセント、発音記号は青色で併記されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・全体として、ストーリーがまとまっており、物語や登場人物のセリフがリアルに展開されている。</li><li>・各単元の扉には、技能のゴールと「目的・場面・状況」が示されており、「Listen and Read」（重要表現の導入と本文の内容）→「Listen」→「Speak」→「Write」と展開され、4技能5領域の力をバランスよく育むことができるよう工夫されている。</li><li>・学習者用デジタル教科書では、実践的な力を養うために、技能統合型活動及び即興的活動のモデル動画を設定したり、各学年にスピーキングテストを設定する工夫がされている。</li></ul>
6 1 新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻末資料には、綴りと発音、辞書の使い方、読み物資料、スピーキング教材、Can-Do リストが掲載されている。</li><li>・2年生以降、単元の途中で様々な物語文や説明文を含んだ読み物資「Let’ s Read」が設定されていて、読解力を鍛えるための工夫がされている。</li><li>・二次元コードが豊富に掲載されており、英語の音声をはじめ、様々な学習コンテンツで学びを深める工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書サイズはA4判で、1年生は手書きに近いフォントが、2年生以降は主に活字体が使用されている。</li><li>・1年生では、アクセントは各単語に青色で付記され、発音記号は巻末に黒字で掲載している。2・3年生では、アクセント、発音記号が黒色で併記されている。</li><li>・小学校での既習単語が併記されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各単元の扉には、「Input」と「Output」の「Unit Goal」が示されていて、「Scene/Target」（重要表現の導入と本文の内容）→「Listen」→「Speak」→「Write」と続き、まとめに技能統合型の活動が設定されている。</li><li>・単元間の「Let’ s talk」「Let’ s Listen」等で知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力を伸ばす工夫がされている。</li><li>・学習者用デジタル教科書では、すべてのデジタルコンテンツを利用できたり、Unit のふり返り「Check」では「Input」「Output」の自己評価を4段階で行う等、記録を行うことができる。</li></ul>

# 中学校 道徳 調査資料 作成の観点

項 目	観 点
特 色	<p>＜学習指導要領の教科の目標に関わる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳的価値の意義及びその大切さなどを自分との関わりで理解させるために、どのような工夫がされているか。</li> <li>○自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めさせるために、どのような工夫がされているか。</li> <li>○自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性（道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲と態度）を育成するために、どのような工夫がされているか。</li> </ul> <p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現代的な課題についてどのように取り上げ、その解決に向けて考え続ける意欲や態度を育てるために、どのような工夫がされているか。</li> <li>○問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするために、どのような工夫がされているか。</li> </ul> <p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発達の段階に即し、ねらいを達成する上で、どのような工夫がされているか。</li> <li>○深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えるために、どのような工夫がされているか。</li> </ul> <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動を充実するために、どのような工夫がされているか。</li> <li>○問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習に関して、どのような工夫がされているか。</li> </ul> <p>＜本市の教育が目指す人間像の具現化に向けた工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体験を生かして道徳的価値のもつ意味や大切さについて深く考えられるようにするために、どのような工夫がされているか。</li> <li>○互いの人格を尊重し合える態度等、心の通う対人関係を構築する能力の素地を養うために、どのような工夫がされているか。</li> <li>○一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な能力等を育てるために、どのような工夫がされているか。</li> <li>○家族との触れ合いや地域における体験活動等、学校と家庭・地域の連携の充実のために、どのような工夫がされているか。</li> </ul>
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習意欲を喚起するために、読み物教材にはどのような工夫がされているか。</li> <li>○効果的に活用するために、挿絵や写真、図などにはどのような工夫がされているか。</li> </ul>
	<p>表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教材の内容を把握しやすくさせるために、仮名遣いや用語などにはどのような工夫がされているか。</li> <li>○主な記述（読み物教材など）と道徳科の内容項目との関係の示し方にはどのような工夫がされているか。</li> </ul>
総 括	（全体的な特徴、その他）

項目 発行者	特 色
	内 容
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・「道徳科とは」では、「気づく」「考える」「深める・広げる」という授業への臨み方や学び方が示されており、多様な考えや意見の広がり学びを深め、自己の生活や学習に広げられるよう工夫されている。また、「学習の流れ」によって、学習テーマに対する考え方の道筋が示されており、多面的・多角的な考えにつながる工夫がされている。</li><li>・教材の冒頭に学習テーマが表記されており、ねらいとする内容項目をおさえる工夫がされている。</li><li>・付録として小学校の教材が掲載されており、生徒自身が自分の考え方の変化を掴み、成長を感じとることができる工夫がされている。</li><li>・「プラス」として、学習を広げたり、深めたりするコラム等があり、内容項目を別の視点から深めることができるよう工夫されている。</li><li>・「プラス」を組み合わせることによって、SDGs や防災、情報モラルといった現代的な課題について、自分事として捉えられる工夫がされている。</li><li>・教材の末尾の「考えよう」「見つめよう」「ぐっと深める」によって、教材の本質に迫ったり自分の内面を深めたりすることができるよう工夫されている。</li><li>・巻末には切り離して使える「心情円」があり、心情を可視化できるよう工夫されている。</li></ul>
17 教育出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」の3つのテーマがユニット化され、道徳の学習を通して、多様な教材から考えが深められるよう工夫されている。</li><li>・「さあ、道徳を始めよう！」では、道徳への関心をもたせる4コマ漫画や、道徳科の授業のねらいや取り組み方の説明が掲載されていることで、これからの学習の意味が見いだせるよう工夫されている。</li><li>・教材名の下に、導入の問いが記載され、道徳的価値を捉えながら、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</li><li>・教材の末尾の「学びの道しるべ」では、考えを深めたり、みんなで話し合ったりする発問が3つ設けられている。</li><li>・いのちについて、多面的・多角的に考えられる教材が取り揃えられ、複合的にいのちについて考えることができるよう工夫されている。</li><li>・「やってみよう」が1～3か所設けられており、直前の教材で学んだ道徳的価値について、体験的な学習を通して視野を広げ、学びを深められるよう工夫されている。</li><li>・巻末の『『よりよく生きる』って、どういうことだろう?』では、自己の1年間のあゆみと変容を見つめ、実生活に生かせるよう工夫されている。</li></ul>

(中学校 道徳)		令和6年7月2日 調査専門員長 坂口 洋美	
項目 発行者	特 色	総 括	
	資 料		
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材総数は39本（付録4本を含む）となっている。</li><li>・イラストから問題となる場面を自分自身で見付ける教材が掲載されている。</li><li>・写真や絵が大きく、教材理解に繋げる工夫がされている。</li><li>・教材名の下に二次元コードが掲載され、デジタルコンテンツが活用できるよう工夫されている。朗読音声やワークシート、関連動画、他教科の関連等が用意されており、様々な角度から学びを広げる工夫がされている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用され色覚特性にも適応するようデザインにされており、紙も軽量なものが使われている。</li><li>・漢字や難解な言葉には振り仮名が付けられ、難解な語句は脚注で補足説明されている。</li><li>・教材の途中や末尾に「つぶやき」というメモ欄が掲載され、自分の考えが書き込めるよう工夫されている。</li><li>・目次と教材冒頭に4つの視点が示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・考えや思いを「つぶやき」等で書き留めながら、「学習の流れ」等で多面的・多角的な考えができるよう工夫されている。</li><li>・教材の冒頭に学習のテーマが表記されており、ねらいとする内容項目が分かるよう工夫されている。また、ねらいに迫ったり自己を見つめたりできる問いが用意されている。</li><li>・デジタルコンテンツが豊富に掲載され、朗読音声やワークシート、関連動画、他教科の関連等によって、学びを広げる工夫がされている。</li><li>・巻末には切り離して使える「心情円」があり、心情を可視化できるよう工夫されている。</li></ul>
17 教育出版	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材総数は35本となっている。</li><li>・脚注にも写真を載せるなど、教材理解を促す工夫がされている。</li><li>・グラフや写真、漫画から考える教材が設定され、発想豊かに捉えられるよう工夫されている。</li><li>・全教材に二次元コードが掲載され、教材の解説や関連動画等が用意されている。</li></ul> <p>&lt;埼玉県関連&gt;</p> <p>2年 たったひとつのたからもの（県立小児医療センター）</p> <p>3年 旅立ちの日に（秩父市立影森中学校）</p> <p>3年 世界に誇る「BONSAI」（さいたま市・大宮盆栽村）</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用され、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li><li>・漢字や難解な言葉には振り仮名が付けられ、難解な語句は脚注で補足説明されている。</li><li>・教材に行数の点が打たれており、発表や意見共有に役立つ工夫がされている。</li><li>・目次と教材冒頭に4つの視点マークが示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材の冒頭の投げかけでねらいとするテーマを掴みながら、見通しをもって取り組めるよう工夫されている。「学びの道しるべ」には、ねらいとする道徳的価値について考えを深めたり、話し合ったりする問いが3つ設けられている。</li><li>・いのちについて、多面的・多角的に考えられる教材が取り揃えられ、複合的にいのちについて考えることができるよう工夫されている。</li><li>・評価まで考慮された資料が多く掲載され、ねらいに即した学習につながる工夫がされている。</li><li>・巻末の『『よりよく生きる』って、どういうことだろう?』では、自己の1年間のあゆみと変容を見つめ、実生活に生かせるよう工夫されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色
	内 容
3 8  光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・「道徳で学ぶ 22 のキーワード」では、道徳の内容項目がイラストを用いて表現されており、内容項目のイメージがつかみやすい工夫がされている。</li><li>・「道徳 道案内」では、全教材をユニットで捉えていることが「いじめを許さない心について考える」「自分の行動に責任をもつとは？」など、道筋に見立てて紹介され、年間の学習内容の見通しをもてる工夫がされている。</li><li>・「考えよう」では、その教材で何を考えるのかという学習テーマや、テーマに迫る問いが示され、また、「見方を変えて」では、異なる立場や別の視点から考えられるヒントが示されており、多面的・多角的な考えができるよう工夫されている。</li><li>・「学びをプラス」では、1つ前の教材について、別の視点から考える内容が提示され、さらに考えを深められるよう工夫されている。</li><li>・巻末の「まなびの記録」では、1年の始めと終わりに記入するスペースが設けられ、自己の変容を見つめられるよう工夫されている。</li><li>・小学校の教材が掲載されており、生徒自身が自己の変容を掴み、成長を感じとることができる工夫がされている。</li><li>・いじめ、情報モラルについて生徒が自分事としてとらえやすい教材が掲載されており、さらに深く考えることができる工夫がされている。</li></ul>
1 1 6  日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・「いじめと向き合う」と「よりよい社会を考える」について、2～3のユニットがあり、生徒が多様な視点から学べるよう工夫されている。</li><li>・「道徳科での学びを始めよう！」では、漫画を用いた会話形式で道徳科の授業の学び方が掲載されている。また、ミニ教材を用いて実際に考え方・学び方を実践できるよう工夫されている。</li><li>・教材の冒頭には、「学びのキーワード」が記載されており、学びの足掛かりとなる工夫がされている。</li><li>・教材の末尾には「考えてみよう」「自分にプラスワン」が掲載されており、主体的に考え議論に活かす問いと道徳的価値と照らし合わせて自己を見つめ直す問いが用意されている。</li><li>・「視野を広げて」では、教材の内容を受けて、生き方についての視野を広げるコラムが掲載され、自己の考えを見つめる工夫がされている。また、他教科との関わりや主たるテーマとは別のテーマについても考えることができるよう工夫されている。</li><li>・読み物資料には、同じ出来事を別の視点で捉えた話が掲載されており、多面的・多角的に物事を見ることの重要性に気付かせる工夫がされている。</li><li>・「多様性」が重視されており、自他の尊重へ意識を高められるよう工夫されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
3 8  光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材総数は37本（付録2本を含む）となっている。</li><li>・巻末には、小学校の教材が掲載されている。</li><li>・教材の内容が理解しやすくなる写真や挿絵が掲載されている。</li><li>・多くの教材に二次元コードが掲載され、朗読や動画、参考資料等が用意されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用され、薄い紙が採用されている。</li><li>・漢字や難解な言葉には毎回振り仮名がつけられ、難解な語句は脚注で補足説明されている。</li><li>・「考えよう」やコラムは横書きで表記され、教材と区別できるよう工夫されている。</li><li>・教材冒頭に4つの視点マークと内容項目が示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・読み物資料を中心に、自己や他者と向き合うための手段（読む、話し合う、書く、演じる）が提示されており、多面的・多角的に道徳的価値について考えられるよう工夫されている。</li><li>・ねらいに沿った学習となるように、教材の始めに内容項目が記載されている。また、「考えよう」「見方を変えて」によって、多面的・多角的に考えられる工夫がされている。</li><li>・「つなげよう」では、自己の生き方について考えられる工夫がされている。</li><li>・「なんだろうなんだろう」「今日のでつがく」は、内容項目を問わず、考えの本質を見いだす教材となっている。</li></ul>
1 1 6  日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材総数は36本（ミニ教材1本を含む）となっている。</li><li>・「視野を広げて」では、内容理解のためのイラストが効果的に活用されている。</li><li>・別冊で「道徳ノート」が添付されており、自由度の高い活用ができるよう工夫されている。</li><li>・全教材に二次元コードが掲載されており、関連動画や音声等が用意されている。</li></ul> <p>&lt;埼玉県関連&gt; 3年 受け継ぐかたち・思い・地域のよさ（塙保己一）</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用され、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li><li>・漢字や難解な言葉には毎回振り仮名が付けられ、難解な語句は脚注で補足説明されている。</li><li>・教材冒頭に4つの視点マークと短い文章で「学びのキーワード」が示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・新聞や意見文を取り入れながら、「いじめ」「よりよい社会」に特に重点が置かれ、多面的・多角的に繰り返し扱うことで道徳的心情をはぐくめるよう工夫されている。</li><li>・読み物資料では、同じ出来事を別の視点で捉えた話を掲載し、多面的・多角的に物事を見ることの重要性に気付かせる工夫がされている。</li><li>・別冊で「道徳ノート」が添付されており、自由度の高い活用ができるように工夫されている。また、「自分への振り返り」によって、自分自身でこの時間での変容を確認することができるよう工夫されている。</li><li>・教材の末尾には「考えてみよう」「自分にプラスワン」が掲載され、主体的に考え議論に活かせる問いと道徳的価値と照らし合わせて自己を見つめ直す問いが用意されている。</li></ul>



項目 発行者	特 色
	内 容
2 2 4  G a k k e n	<ul style="list-style-type: none"><li>・「持続可能な社会のために」「色とりどりに輝く」「未来に向かって」というテーマで、SDGs、多様性、キャリアの視点から構成されたユニット学習が取り入れられている。</li><li>・「道徳科で学ぶこと 考えること」では、「見つけよう・考えよう・話し合おう・生き方につなげよう」という4つの手順が示されており、道徳的価値との関わりについて理解が深められるよう工夫されている。また、様々な思考方法や ICT の活用方法、考えを深めるステップが示されており、道徳の学習に取り組みやすいよう工夫されている。</li><li>・立場や場所の違いなど、同一の教材で別の視点が示されるなど、多面的・多角的に幅広く考えられるよう工夫されている。</li><li>・教材の末尾の「クローズアップ」では、生き方の選択肢を増やす関連情報が、「深めよう」では、自己と向き合うことや多面的・多角的に考えることができる学びの提案が掲載されており、話し合い活動で考えを深められるよう工夫されている。</li><li>・巻頭には、現代的な課題や自己理解のためのページが掲載されており、現代的な課題への関心・意欲を高め、学びの見通しがもてるよう工夫されている。</li><li>・「多様性」の尊重に重点が置かれ、発達段階に合わせて理解が深まるよう工夫されている。</li><li>・巻末には「学びの記録」が掲載され、学期ごとに自己の学びを振り返ることができるよう工夫されている。</li></ul>
2 3 2  あ か つ き 教 育 図 書	<ul style="list-style-type: none"><li>・「道徳科の時間は、『自分を見つめ、考え、生きる』時間」では、道徳科の授業の取り組み方が紹介され、内容項目について「22のキーワード」が掲載されている。</li><li>・「『いじめ』を考える」「情報モラル」「キャリア」がユニット学習として設けられており、コラム「Thinking」によって、学習内容をさらに深められるよう工夫されている。</li><li>・「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「考えを深める」に問いが示されており、自己の考えを深められるよう工夫されている。また、「自分との対話」では、それぞれの問いにおける自己の考えや他者の考えを踏まえて、改めて自己を見つめ直せるよう工夫されている。</li><li>・「マイ・プラス」では、生徒が多面的・多角的に考えられる問いが設けられ、話し合い活動や体験的活動によって理解を深められるよう工夫されている。</li><li>・「いのち」「いじめ防止」が重視されており、学年ごとに複数の教材が掲載されている。</li><li>・「道徳 始まりの時間」では、学年ごとのテーマが提示され、道徳の時間の進め方、考え方などについて学べる工夫がされている。</li><li>・巻末には「学習の記録」が掲載され、学期ごと自己の学びを振り返ることができるよう工夫されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2 2 4  G a k k e n	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材総数は35本となっている。</li><li>・文章が長めの教材が多く掲載されている。</li><li>・イラストや図が教材の内容に合っており、話を掴んだり、理解を深めたりしやすい工夫がされている。</li><li>・二次元コードが掲載されており、動画、写真、音声、ワークシートなどが用意されている。</li></ul> <p>&lt;埼玉県関連&gt;</p> <p>1年 伝統を伝説に（寄居町立男衾中学校） いっばい生きる全盲の中学校教師（寄居市新井淑則教諭）</p> <p>2年 蹴り続けたボール（浦和レッズ長谷部選手）</p> <p>3年 百年たっても（三郷市立栄中学校）</p> <p>3年 日本で初めて国に認められた女性の医師（荻野吟子）</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用され、環境に配慮した紙、インクが採用されている。</li><li>・漢字や難解な言葉には振り仮名が付けられ、難解な語句は脚注で補足説明されている。</li><li>・目次と教材冒頭、巻末に4つの視点マークが示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・道徳的価値観について、多面的・多角的に、深く考えさせる工夫がされている。「持続可能な社会」「多様性」といった現代的な課題について、発達段階に応じて捉えさせる工夫がされている。</li><li>・イラストや図が教材の内容に合っており、話を掴んだり、理解を深めたりしやすい工夫がされている。</li><li>・教材目の下に、教材のエッセンスとなる文章が記されており、教材への興味・関心がもてるよう工夫されている。「クローズアップ」「深めよう」により、自己と向き合うことや多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。</li><li>・同一の教材で別の視点が示されるなど、多面的・多角的に幅広く考えられるよう工夫されている。</li></ul>
2 3 2  あ か つ き 教 育 図 書	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材総数は45本（コラム等10本を含む）となっている。</li><li>・写真やグラフから考える教材、漫画を用いた教材など様々な教材が掲載されている。</li><li>・二次元コードがあり、教材に関わりのある資料が用意されている。</li></ul> <p>&lt;埼玉県関連&gt;</p> <p>2年 天使の舞い降りた夜（元さいたま市教員石黒真愁子著） ふるさとに学びを広げよう（渋沢栄一）</p> <p>3年 六万円のご縁（医師猪野屋博氏）</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用され、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li><li>・漢字や難解な言葉には振り仮名をつけ、難解な語句は脚注で補足説明されている。</li><li>・教材冒頭に4つの視点マークが示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自己を見つめ、多面的・多角的に考えながら、生き方を考えるという道筋が示され、様々な問いによって、繰り返し学習することで道徳的価値について深く考える工夫がされている。</li><li>・道徳の教材として、従来の道徳の授業の在り方を踏まえたづくりがされており、生徒の様々な考えを引き出す工夫がされている。</li><li>・「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「考えを深める」に問いが示されており、自己の考えを深められるよう工夫されている。</li><li>・「いのち」「いじめ防止」について、学年ごとに複数の教材が掲載されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色
	内 容
2 3 3  日 本 教 科 書	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材が、道徳の内容項目 A～D の順で配列されている。</li><li>・「クラスみんなと「道徳授業」を創り出そう」では、道徳の授業への取り組み方が示され、また、「試してみよう」「ウォーミングアップ」によって流れが確認できるよう工夫されている。</li><li>・教材の末尾には、「考えよう」「深めよう」という 2 つの発問が示されており、多面的・多角的に考え、さらに自分の見方や考え方が変わったり深まったりすることができるよう工夫されている。</li><li>・編集委員会が作成した教材が多く掲載されている。</li><li>・「いじめ問題」や「情報モラル」等の現代的な課題について重点的に扱われており、自分事として捉えられる工夫がされている。</li><li>・巻末に 26 枚からなる「ウェルビーイングカード」が添付され、議論のきっかけ作りや多面的・多角的に自己をみつめる手段として活用できるよう工夫されている。</li><li>・巻末の「わたしたちの郷土」では、自然・文化・人が作り出す郷土について掲載されている。</li></ul>

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表 記・表 現	
2 3 3  日 本 教 科 書	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材総数は 35 本となっている。</li><li>・4 つの視点ごとの最初のページには、問題提起となる 4 コマ漫画が掲載されている。</li><li>・大きな写真やイラストが配置され、シンプルで見やすい紙面構成となっている。</li><li>・巻末に 26 枚からなる「ウェルビーイングカード」が添付されている。</li></ul> <埼玉県関連> 2 年 夢桜 荻野吟子 (荻野吟子) 2 年 わたしたちの郷土 (渋沢栄一)	<ul style="list-style-type: none"><li>・UD フォントが採用され、ユニバーサルデザインの観点から色使いやレイアウトが工夫されている。</li><li>・漢字や難解な言葉には毎回振り仮名が付けられ、難解な語句は脚注で補足説明されている。</li><li>・余白が十分に取られ、ゆとりのある誌面となっている。</li><li>・目次と教材冒頭に 4 つの視点マークが示されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・4 つの視点で考えるべきことが 4 コマ漫画を通して投げかけられ、ねらいに沿った学習ができるよう工夫されている。自己や他者の意見を大切にすることに重点がおかれている。</li><li>・教材末尾の「考えよう」で深く考えた内容が提示され、「深めよう」では、自分との対話を通して考えさせる工夫がされている。</li><li>・巻末に 26 枚からなる「ウェルビーイングカード」が添付され、議論のきっかけ作りや多面的・多角的に自己をみつめる手段として活用できるよう工夫されている。</li><li>・大きな写真やイラストが配置され、シンプルで見やすい紙面構成となっている。</li></ul>